

2023年 長崎国際大学
薬学科
保護者会 資料

2023 年度 長崎国際大学保護者会

目 次

理事長あいさつ	1
---------	---

学長あいさつ	2
--------	---

大学概要

◆建学の精神・大学の基本理念	6
----------------	---

◆長崎国際大学のポリシー	7
--------------	---

◆長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科のポリシー	9
----------------------------	---

◆長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科のポリシー	11
----------------------------	----

◆長崎国際大学 健康管理学部 健康栄養学科のポリシー	13
----------------------------	----

◆長崎国際大学 薬学部 薬学科のポリシー	15
----------------------	----

学校法人九州文化学園グループ

◆沿革	18
-----	----

◆大学の現況	21
--------	----

◆在学生の状況	22
---------	----

情報公開・地域連携

1. 公開している情報について	24
-----------------	----

2. 財務状況について	26
-------------	----

地域連携室・スポーツ支援振興室 Topics	30
------------------------	----

薬学部 薬学科	34
---------	----

教務関係資料

1. 2023（令和 5）年度 学年暦	58
2. 成績表の見方及び GPA 制度の運用について	58
3. 出席管理システムについて	61

茶道文化について

1. 「茶道文化」の概要	66
2. 履修者数および資格取得者数	68

学生生活関係資料

1. 学生生活について	70
2. 奨学制度（奨学金）について	75
3. 開国祭（大学祭）のご案内	78
4. キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて	79

国際交流・留学関係資料

国際交流・留学と活動	82
長期派遣交換留学プログラムを終えて	84

就職支援関係資料

キャリアセンター就職支援	88
--------------	----

大学周辺の医療機関（略図）	90
---------------	----

お問い合わせ先一覧	91
-----------	----

保護者の皆様へ

学校法人九州文化学園
理事長 安部 直樹



この度は、保護者懇談会にご参加いただきありがとうございます。大学生活をより充実有らしめるためには、学生本人、大学教職員、そしてご家族の皆様の三者が一体となった理解と協力が必要であります。コロナ禍以前の本学保護者会は本学会場に加え、九州すべての地区へ私どもが出向き、ご家族の皆様と直接お会いして本会を開催していました。コロナ禍により 2021 年度からは本学での対面とオンラインでの面談を実施し、すべての保護者様が対象となり、多くの皆様にご参加頂いております。

本学は平成 12 年に、佐世保市、長崎県、地元の企業の支援によって誕生した、公私協力方式の大学であり、その母体は学校法人九州文化学園ですが、九州文化学園は幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学、専門学校を併設し、今年で創立 78 年目を迎えています。

大学のモットーは「いつも、人から。そして、心から。」のホスピタリティの理念を有し、この理念を具現化する教育として「茶道文化」を開設しています。

おかげ様でそうした理念を十分にご理解いただき少子化、過疎化の進行にもかかわらず、多くの学生、保護者の皆様より高い評価を頂き定員を充足することができております。

まだ、コロナ禍が十分消滅したわけではありませんが、私たちはウイズコロナで大学の活性化を元に戻し、対面授業、年間の行事などを平常に戻すべく努力をいたします。しかしコロナ防止にも力を入れ、他大学にはない本学独自の診療所を設置、体調に変化を感じた学生には健康チェックを提出させるなどコロナ防止にも万全を期しています。

本学の教育のモットーは学生ファースト、学生を第一に考え、在学中にどれだけ力を伸ばすことができたか、そのためのきめ細かい教育指導を行っています。

コロナ禍という状況の中でこそ大学の真価が問われます。学生が生き生きと大学生活を送れるように教職員一体となって大学教育にあたっております。引き続き本学の教育にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長 安東 由喜雄



長崎国際大学学生、保護者の皆様、学長の安東由喜雄でございます。学長として指揮を執るのは今年で4年目となります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。保護者の皆様には常日頃より本学の運営に関しまして、ご理解いただいております上、多大なるご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。3年以上にも渡るコロナ禍でしたが、5月8日に感染症分類2類から5類に移行し、様々な規制が外れ、学内の様々なイベントも解禁いたしました。以前と比べ学内に活気が戻ってきた気がいたします。引き続き本感染症の流行には注視しつつ、政府の方針を踏まえ、学内の運営を行っていくつもりです。

本学では、この3年間、新型コロナウイルス感染症に関して蓄積された科学的エビデンスに基づき、本感染から学生を守るため、様々な取り組みを行ってまいりました。1年以上学生の授業や部活動の厳しすぎる規制を行いますと、学生の心も体も萎えてしまいます。そこで本学では、コロナウイルス感染に十分すぎるほどの注意を払いながら、この昨年度以降、対面授業を貫き、本年度より部活も屋外のみならず授業でもマスクの着用は義務付けないことといたしました。幸い、授業を通してのクラスターは一切発生しておりません。今年も行った学生の授業アンケートによりますと、8割の学生が、本学の授業形式が「非常に良い」、「まあまあ良い」という評価をしており、ほっと胸をなでおろしておりますところです。教員も少しでも学生に喜んでいただき、意義ある授業を提供すべく最善を尽くしております。今後も諸般勘案の上、学生に、少しでもキャンパスライフを謳歌していただくよう、臨機応変に「学生の健康ファースト」を基本として対応していきたいと思っております。

コロナ禍は、大学運営においても、「安心・安全」を提供できなければ何事も始まらないことを浮き彫りにしました。PCRセンターは、設立してやがて3年となりますが、学生をクラスターから守る有効な手段として機能して参りました。また2年前の8月に学内に設立した利休庵診療所は一昨年4月から常勤医を迎え、学生・教職員の健康を守る活動を行っております。学生の受診もぐんと増え、実習前に行う、風疹や麻疹、B型肝炎の抗体検査、コロナやインフルエンザ感染症はもちろんのこと、体調不良を訴える学生をいち早く拾い出し、有効な対応を行う、全国でも羨ましがられる環境となっております。

さて、経常費補助金は大学の運営に重要不可欠なものです。私立大学等改革支援総合事業におきましても主なものは採択されており、教育、研究、社会貢献等に有効に活用し

ております。本支援事業、タイプ3では九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム事業が昨年に続いて採択され、本事業が継続する事になっております。地域における有用な人材の育成をテーマに長崎県・佐賀県の全大学・短期大学と福岡県の2短大合わせて12の大学・短大と自治体、産業界がテーマの達成に向けて力を合わせて頑張っております。なお、このプラットフォームは複数県にまたがるユニークなプラットフォームとして全国的に注目されておりますが、新たな地域創生への貢献が期待されており、西九州から、全国、世界に情報発信していきたいと希っております。

本学は“人間尊重、Hospitality”の醸成を教育理念にしており、その具現化の方法として1年次に茶道を必修として取り入れ、学生さんに体得してもらっております。また、部活動も盛んで5割以上の学生さんが何らかの部活動に加わっています。なお、スポーツ系ではアーチェリー、野球、ゴルフ、バレー、テニス、空手などが種々の大会で活躍しております。文化系でも吹奏楽、茶道、ボランティア、エイサーなど多彩で、活発な活動が行われ、地域に貢献しています。今まで不十分であった文系部活の創部支援も積極的に行っていきたいと考えております。

本学では留学生が多く学んでいることも特色の一つですが、全学生2300名の約1割、240名ほどが在学しております。コロナ禍でこの数は減少傾向にはありますが、政府の規制緩和と共にその数は今後また増加していくものと期待しております。

東アジアからの留学生が主ですが、欧米からも留学しております。更に国際観光学科にはグローバルツーリズムコースがあり、英語による授業、英・米国等への短期・長期の留学を行うことで多様性を身につける様にしております。今年からは規制が外れましたので可能な限りこうした活動を続行して参りたいと願っております。他方、CHサポートセンターにおける何らかの障がいを持つ学生さんのサポート、キャリアセンターによる就職活動支援、教育基盤センターでの学力不足の学生さんへの教育支援など学生満足度を高めるため、全学を挙げての不断の取り組みも精力的に行なっております。

昨年6月より、ロシアのウクライナ侵攻で、学習機会を奪われた学生3名を本学で受け入れることになりました。クラウドファンディングを立ち上げ、九州文化学園を挙げて支援しております。微力ですが、こうした国際貢献も重要と考えております。

コロナ禍の中での活動は引き続き制約も生まれますが、これからも状況を勘案しながら、学生諸君に少しでも日々の生活が充実したものになるよう、鋭意努力して参ります。学生さんからの要望は「学長カフェ」などで随時汲み上げて参りたいと願っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年9月1日

大学概要

◆ 建学の精神・大学の基本理念

《九州文化学園建学の精神》

「高い知性と豊かな教養」「優れた徳性と品格」「たくましい意志と健康な身体」の備わった人間の育成。

《長崎国際大学建学の理念》

人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求・実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育・研究。

《長崎国際大学教育の目標》

1. 専門的知識と技能に加えて、知性、感性、人間性の備わった人材の育成。
2. 地域から愛され、地域社会に貢献できる人材の育成。
3. 異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成。

《モットー》

いつも、人から。そして、心から。

《大学の目的》

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、学校法人九州文化学園の建学の精神に則り、高い知性と豊かな教養、優れた徳性と品格、たくましい意志と健康な身体の備わった人間を育成することを目的とする。

《 学部 の 目的 》

- (1) 人間社会学部は、学部にはける国際観光学科及び社会福祉学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、観光産業、スポーツ、国際交流、教育、社会福祉の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。
- (2) 健康管理学部は、学部にはける健康栄養学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、健康と栄養の維持・管理における栄養学、管理栄養学、栄養教育の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。
- (3) 薬学部は、学部にはける薬学科の専門分野に関する知識と技能を修得し、知性、感性、人間性を備え、医療薬学、衛生薬学、創薬研究の領域において地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

《 学科 の 目的 》

- (1) 国際観光学科は、観光及び関連する領域の専門的知識・技能を修得し、観光産業・事業、国際交流、まちづくりの各分野で実践的に活動できる人材を育成する。
- (2) 社会福祉学科は、社会福祉及び関連する領域の専門的知識・技能を修得し、福祉行政・計画、福祉臨床、福祉経営の各分野で実践的に活動できる人材を育成する。
- (3) 健康栄養学科は、健康と栄養に関する領域の専門的知識・技能を修得し、健康と栄養の維持・管理の分野で実践的に活動できる栄養士・管理栄養士を育成する。
- (4) 薬学科は、人間尊重を理念に薬学に関する専門的知識・技能を修得し、医療薬学、衛生薬学、創薬の各分野で研究を遂行できかつ実践的に活動できる薬剤師を育成する。



長崎国際大学シンボルマーク

■ デザインの意味

本学が建学の理念に掲げている「人間尊重」 その“ひと”と長崎国際大学の英文表記の頭文字－N・I・Uをシンボライズしたデザインです。

上下に交差する N と U は、世界の文明や文化がクロスする「歴史とポテンシャルを持つ」長崎と、「現在と未来を結ぶ」大学であることをあらわします。

中心にある人の形をした I は、大学の研究や教育、様々な交流がすべて人間社会の豊かな幸福を願って実践されることを意味します。

《 3 つのポリシー 》（入学者受入方針、教育の実施や卒業認定・学位授与に関する基本的な方針）

※ 本学は、明確な「3つの方針」に基づいた教育を行います。

長崎国際大学のポリシー

《ディプロマ・ポリシー（本学の学位授与の方針）》

長崎国際大学（以下本学という）は、「人間尊重」を基本理念に、「ホスピタリティの獲得」をその具体像としています。必須単位数等を定めた学士課程カリキュラムを履修することによって、身に付けた深い専門的知識と高い技能、及び社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人物の育成が目的です。また、この基盤には高い人間性が存在します。伝統文化や書物からの学びによって、静かに考え、一歩先を読む態度を育成することが、変化の激しい社会の中にあって、人間性をより豊かにすると考えています。

この実現のために、所定の単位数を修得し、ホスピタリティを構成する次の諸能力を身に付け活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学士課程カリキュラムに沿って専門的知識・技能を修得し、それらを様々な課題に適用して解決を図ることができる。

(2) 情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集し、それを分析して自己の成長や課題解決等に役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

他の人の意見を傾聴するとともに自分の考えを明確にした上で、静かに意見を交換し、相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

(5) 多様性理解力

自国の文化を深く理解するとともに他国の文化や障がいを持った人たちを広く受け入れ、共生に向けた行動がとれる。

《カリキュラム・ポリシー（ディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針）》

本学は、卒業認定及び学位授与の方針に掲げた知識・技能を始めとした諸能力の獲得を可能にするために、初年次教育、教養教育、及び専門教育の授業科目の順次性を考慮して体系的に配置するとともに、講義や実習等を効果的に組み合わせたカリキュラムを編成します。さらに、その構造を理解しやすくするために、各授業科目が学士課程カリキュラムでどのような位置を占めるかを示し（カリキュラムマップという）、さらに学修段階や履修順序を示す番号を各授業科目に割り振ります（ナンバリングという）。

A. 教育内容

○ 初年次教育

4年間あるいは6年間の学修の基盤となる資質（大学理念の理解、アクティブ・ラーニングの理解、大学での学修習慣の形成、省察の意味やポートフォリオ活用の理解等）の修得を行う場であり、「茶道文化」、「ホスピタリティとSDGs」及び「教養セミナー」という授業科目が核になります。

○ 教養教育

- ① ここでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の基礎を培う授業科目が展開されます。特に、主体的に考え、判断し、表現する能力・態度の修得に必要な内容や方法が組み込まれています。
- ② 語学教育の英語科目では、習熟度に基づくクラス編成での授業を行い、英語運用能力の着実な伸張を図ります。
- ③ ICTに関する科目においては、時代とともに進化する状況を踏まえて、最新のハード及びソフトの理解や活用を可能にします。

○ 専門教育

- ① 学科及びコースごとに専門分野の体系と最新の知見を踏まえた適切な内容を講義や実習等に組み込んでいます。ディプロマ・ポリシーで掲げる専門力向上の主な場となります。
- ② 大学内で獲得した能力・態度を統合して活用するとともに、将来のキャリアと結びつけての省察を可能にする体験実習（ハイ・インパクト・プラクティス）を行います。

B. 教育方法

アクティブ・ラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、ポートフォリオを活用した面談を行うことによって、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。ポートフォリオは、大学での学びやその成果、担任教員との面談記録等を記録したものであり、各学生の成長の記録と位置付けています。

《アドミッション・ポリシー（本学が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）》

本学は理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを素直に受け入れて主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めています。

- ① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。ただし、学科によっては特に深い習得を求められる分野が加わります。
- ② 高等学校までの知識・技能を活用して、学校内外の課題解決活動に取り組んだ経験がある人。
- ③ 自分の将来の選択肢と視野を拡げるため、総合的な英語力を伸ばした人。
- ④ ボランティア活動等を通して、社会的な課題に取り組んだ経験がある人。

- ⑤ 日本文化や書物等から多くの学びを得た人、あるいはその学びを身に付けたいと考えている人。
- ⑥ 学びたい学部・学科があり、そこで獲得した能力・態度を社会で生かしたいと考えている人。
- ⑦ 大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する能力の向上に入学前から取り組むことができる人。

入学者を適正に選抜するために、学習成果を重視する一般選抜による入試に加え、修学に必要な基礎学力、総合的な学習や探究での成果、資格や高等学校内における諸活動等を適正に評価する学校推薦型、総合型選抜入試を実施します。また、キャンパスの多様性向上・実現のため外国人留学生特別入試や多様な経験を持つ社会人及び、帰国子女のための入学者選抜を行います。これら全ての入学者選抜において、高校で培った学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）を多面的・総合的に評価します。

《アセスメント・ポリシー》

どのような時代にあっても、学位授与の方針で求められる能力・態度が確実に獲得することができる教育を提供するために、自己評価と外部評価を実施し、その結果を公表します。

① 大学レベル

学生及び教職員を対象とした直接的あるいは間接的な調査、及びステークホルダーである企業等を対象とした調査等を集計・分析し、理念の達成度等の評価を行います。修正の必要がある場合は、すぐに改善に取りかかります。

② 学科レベル

所属する学生の単位修得状況、進級状況、休学・退学状況及び学生による授業評価等によって、学科で掲げた目標の達成度を評価し、不足がある場合は改善を加えます。

③ 科目レベル

それぞれの科目で設定した目標を達成しているかどうかについては、「成績評価」、「成績分布データ」、「授業アンケート」等を組み合わせ、分析・評価します。また、授業を重ねる中で、受講者からの意見を聴取し授業改善等につなげます。

④ 学生レベル

理念に掲げる能力・態度の獲得については、学期毎にそれぞれのルーブリックをもとに学生が行った省察と自己評価を、担任の教員が点検評価し、改善に向けた適切な助言を行います。この4年間あるいは6年間のポートフォリオを踏まえて、学生はディプロマ・ポリシーで求められている能力の獲得状況等を、卒業ポートフォリオに記載します。

学位授与にあたっては、一定水準以上の卒業論文であることや、ディプロマ・ポリシーで求めている各能力が獲得されていることが問われますが、ともに外部の専門家あるいはステークホルダーが参加した委員会等で、その評価を行います。

長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科のポリシー

《ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）》

国際観光学科（以下本学科という）では、全学のディプロマ・ポリシーに基づき、観光及び関連する領域の専門的知識・技能を修得し、観光産業・事業、国際交流、スポーツによる地域貢献、まちづくりの各分野で実践的に活動できる人材を育成します。観光及び関連する領域では、特に「人間尊重」を基本理念とした「ホスピタリティの獲得」が重要です。よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、ホスピタリティを構成する次の諸能力を身に付け活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学位プログラムの基本となる専門的知識・技能を修得し、それらを観光及び地域社会の様々な課題に適用して解決することができる。

(2) 情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集し、それを分析して自己の成長や観光及び地域社会の課題解決などに役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

グローバルな視点で、意見を傾聴するとともに、自分の考えを明確にした上で、意見を交換し、相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

観光及び地域社会の課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

(5) 多様性理解力

自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、障がいの有無などによらず、共生に向けた行動がとれる。

《カリキュラム・ポリシー(本学科のディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針)》

本学科では、全学のカリキュラム・ポリシーをもとに、以下の観点からカリキュラムを編成します。

A. 教育内容

初年次教育や教養教育に関しては全学のディプロマ・ポリシーに従って展開し、専門教育に関しては、次の方針で臨みます。

○ 専門教育

- ① 高年次のハイ・インパクト・プラクティス（教育効果の高い学外での体験実習）の基盤となる経験や学びをカリキュラムに組み込み、ホスピタリティを構成する諸能力や次世代の教育に携わる人材となるための知識・技能を段階的に身に付けることができるようなカリキュラムを編成します。
- ② 全学共通科目及び学部共通科目を通して、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティ精神の習得を図ります。
- ③ 学科共通科目では、観光学の根幹を学ぶための科目を配置し、観光学の基礎的知識を理解し、多文化が共生する現代社会の諸問題を解決するための能力の伸長を図ります。
- ④ 3つの専門コースから選択したコース科目を中心に学ぶことにより、専門的な知識・技能と分析能力の向上を図ります。
- ⑤ ハイ・インパクト・プラクティスとして設定した「国内観光研修」「海外観光研修」「語学研修」「海外留学」「インターンシップ」「長期インターンシップ」「地域連携活動」等の学外での学びを通して、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付けるとともに、現場で学んだことを活かし成長することを可能にします。
- ⑥ 少人数の専門演習、及び卒業研究では、特定のテーマに関する調査・研究によって知識を深め、その学修成果を発表することにより表現力を身に付けるとともに、様々な問題解決のための思考力・判断力の向上を図ります。

B. 教育方法

アクティブ・ラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす研修や実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、全学のディプロマ・ポリシーに沿った教育を行い、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。

《アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）》

本学科では、本学の理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを受け入れ、主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めています。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

- ① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。
- ② 自分の将来の選択肢と視野を拓げるため、総合的な英語力を伸ばし入学後も高めたい人。
- ③ 高等学校までの知識・技能を活用して、学内外の課題解決に取り組んだ経験がある人。
- ④ スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等を通して学校内外での社会的な課題に取り組んだ経験がある人。
- ⑤ 日本文化や書物等から多くの学びを得た人、あるいはその学びを身に付けたいと考えている人。
- ⑥ 国際観光学科の学びである観光産業・事業、国際交流、スポーツによる地域貢献、まちづくり等に関心があり、そこで獲得した能力・態度を社会で生かしたいという強い希望を持っている人。
- ⑦ 大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する能力の向上に、入学前から取り組むことができる人。

長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科のポリシー

《ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）》

社会福祉学科（以下本学科という）は、大学ディプロマ・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、必須単位数等を定めた本学科の学士課程カリキュラムを履修することによって、身に付けた深い専門的知識と高い技能、及び社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人物を育成します。

また、自らの専門を軸に生涯にわたって学び、人間性を豊かにする以下の諸能力を身に付け、活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学士課程カリキュラムに沿って専門的知識・技能を修得し、それらを国際社会、及び社会生活における様々な課題に適用して解決を図ることができる。

(2) 情報収集、分析力

社会の課題を情報収集し、分析するための専門的能力を身に付け、そのことを自己及び社会の成長に役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

ホスピタリティの精神に基づいて、多様な立場の人々と相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

周りの人々を巻き込んで、協力して課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。

(5) 多様性理解力

世代間や障がい等による人間の多様性について理解し、真の共生社会を実現するための活動ができる。

《カリキュラム・ポリシー(本学科のディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針)》

本学科では、大学カリキュラム・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、初年次教育（1年生）、教養教育、及び専門教育の授業科目を、難易度順に積み重ね、体系的にしっかりと学修できるように科目を学年配置します。そして、講義や実習を効果的に組み合わせることにより、真に学問を体得できるカリキュラム編成を行います。

A. 教育内容

○ 初年次教育

教養セミナー（ゼミ）を軸に、4年間の学修の基盤となる大学理念、学修態度の基盤形成、ホスピタリティに関する知識とその精神を身に付けられるカリキュラムを編成しています。

○ 教養教育

生涯にわたって自ら学び続ける基礎的教養を身に付けます。

○ 専門教育

- ① 専門教育のカリキュラムは、学生が個々の学問的関心と探究心を抱くように編成されています。特に、専門演習、卒業研究は少人数のゼミナールという形でより深く探究できる形式となっており、これらを通してポートフォリオの作成や省察を行うことができます。
- ② 学科共通科目では、社会福祉の知識・技術を理解し実践できるための科目を段階的に学び、専門的な観点から人間と社会を理解する視点を身に付けます。
- ③ コース科目と学科自由選択科目の学びを通じて、人をかけがえのない存在として捉え、生活課題を抱える人々を支援し、国際社会、及び地域社会の課題に対応する能力を身に付け、様々な問題解決のための思考力・判断力の向上を図ります。
- ④ 専門家としての知識・技能・表現力・適切な態度を身に付けるために、学修過程の成果物を蓄積し、ルーブリックによる評価を行いながらポートフォリオを形成します。
- ⑤ 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格をはじめ、スクールソーシャルワーカー、教育職員免許状、福祉心理士、障がい者スポーツ指導員（初級）、生きがい情報士の資格が取得できるカリキュラムを編成しています。なお、社会福祉主事任用資格は卒業と同時に全員が取得できます。

B. 教育方法

全学のディプロマ・ポリシーに沿った、アクティブ・ラーニング（本学科では、学修者が主体的・能動的・協働的に学べる学修法とする）を授業科目で展開するとともに、その成果を活かす演習や実習科目を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

また、学生一人ひとりに対して担任となる教員を決め、ポートフォリオを活用した面談を行うことによって、それぞれの長所を伸ばし、短所を修正するための適切な学修支援を行います。ポートフォリオは、大学での学びやその成果、担任教員との面談記録等からの学びを記録したものであり、各学生の成長の記録と位置付けています。

《アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）》

本学科では、大学アドミッション・ポリシーを基本精神として踏まえた上で、本学科のディプロマ・ポリシーに掲げる人物を育成するために、教育方針を理解し、主体的に学修を進めることができる入学者を求めています。

そのために本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

- ① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。
- ② 学級活動、部活動、ボランティア活動、スポーツ活動などを通じて、周囲の大人や友人と協力して課題に取り組んだ経験のある人。
- ③ 学習意欲について、本学科で開講する社会福祉やその関連領域において、自分の専門基盤を作る勉強がしたい人。
- ④ 福祉関連機関、民間企業や公務員を目指すなど、しっかりと将来設計を考えている人。
- ⑤ 国際社会、及び地域社会の活性化に向けて、将来、活躍したい人。
- ⑥ 大学での履修を円滑に進めるために、自己の不足する能力の向上に、入学前から取り組むことができる人。

長崎国際大学 健康管理学部 健康栄養学科のポリシー

《ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）》

健康栄養学科（以下本学科という）では、全学のディプロマ・ポリシーに基づき、食と健康に関連する領域の専門的知識・技能を修得し、「健康管理」および「栄養の指導」ができ実践的に活動できる人材を育成します。栄養・食生活を通して人々の健康と幸福に寄与する管理栄養士として、専門的知識・技能を身につけるだけでなく、人間尊重を基本理念としたホスピタリティを獲得し、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力に長けることが大切です。よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、栄養士・管理栄養士として必要な基礎と専門的知識・技能のみならず、ホスピタリティを構成する次の諸能力を身につけ活用することができる人物に学位を授与します。

(1) 専門力

学位プログラムの基本となる専門的知識・技能を修得し、それらを健康・栄養・食生活に関する様々な課題に適用して解決することができる。

(2) 情報収集、分析力

社会に存在する情報を収集・分析し、地域の健康・栄養・食生活に関する課題の抽出を行い、それらの解決などに役立てることができる。

(3) コミュニケーション力

管理栄養士としての専門的な視点を持ち、様々な意見を傾聴することができるとともに、自分の考えを明確にした上で意見交換し、相互理解を図ることができる。

(4) 協働・課題解決力

健康・栄養・食生活に関する課題を的確に把握し、管理栄養士としての専門的な視点を持ち、他の人と協力して解決に向けた方策を立案して解決することができる。

(5) 多様性理解力

自国および多様な地域に暮らす人々の文化やあらゆるライフステージ、また様々な疾患や障がいを持つ人など多種多様な人の状況を深く理解するとともに、他国や他地域の文化や多様な人を広く受け入れ、共生に向けた行動ができる。

《カリキュラム・ポリシー（本学科のディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針）》

本学科では、全学のカリキュラム・ポリシーを基に、以下の視点からカリキュラムを編成します。

A. 教育内容

初年次教育や教養教育に関しては、全学のディプロマ・ポリシーに従い、全学共通科目を通して、栄養士・管理栄養士として幅広い教養やホスピタリティの精神の基盤を身につけます。さらに専門教育に関しては、次の方針で臨みます。

○ 専門教育

- ① 栄養学と関わりの深い化学、生物学に関する基礎科目を設定し、講義や実習を通して専門基礎科目を学ぶための基礎を身につけます。
- ② 栄養学の専門基礎科目群として社会・環境と健康、人体の構造と機能および疾病の成り立ち、食べ物と健康の分野の科目を設定し、講義や実習を通して専門的知識・技能の基礎を身につけます。
- ③ 栄養学の専門基幹科目群として基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論の分野の科目を設定し、講義や実習を通して専門的知識・技能を身につけます。
- ④ 専門的知識・技能をもとに、総合演習Ⅰを経て3年次以降のハイ・インパクト・プラクティス（教育効果の高い学外での体験実習：臨地実習）で専門的知識・技能の統合を図り、社会性や協調性を育むとともに実践的知識と技術を身につけます。
- ⑤ 総合演習Ⅱと管理栄養士演習、栄養学専門演習を通して、栄養学の知識を再確認します。さらに卒業研究において、特定のテーマに関する実験・調査研究によって調査や分析方法の技能を修得し、知識を深め、それらを発表することにより表現力を養います。これにより様々な問題解決のための論理的思考力・判断力を総合的に身につけます。

B. 教育方法

アクティブラーニングを全授業科目で展開するとともに、その成果を生かす演習や実習を組み込み、毎日の授業をディプロマ・ポリシーで掲げた能力・態度の形成につなげます。

《アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）》

本学科では、本学の理念に掲げる人物を育成するために、本学の教育方針を理解し、それを素直に受け入れて主体的に学修を進めることができる次のような入学者を求めます。

そのため本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

- ① 高等学校の履修内容を幅広く獲得している人。
- ② 高等学校までの知識・技能を活用して課題解決を行った経験がある人。
- ③ ボランティア活動等を通して学校内外で社会的な課題に取り組んだ経験のある人。
- ④ 自己の不足する能力向上のために、入学前から粘り強く取り組むことができ、失敗に屈せず、自分を成長させようとする人。
- ⑤ 食や健康に関する出来事やそれらに関わる専門職に興味があり、大学で得た能力・態度を社会で生かし管理栄養士として活動したいという強い希望を持っている人。

長崎国際大学 薬学部 薬学科のポリシー

《ディプロマ・ポリシー（本学科の学位授与の方針）》

薬学部薬学科（以下本学科という）では、本学建学の基本理念「人間尊重」を理解し、薬学に関する専門的知識・技能を備え、医療薬学の分野で実践的に活躍できる医療人（薬剤師）を養成するため、学生の「ホスピタリティ」獲得を目的とした教育を実践します。

よって、本学科が求める所定の単位数を修得し、次のホスピタリティを構成する5つの能力を有すると認められる学生に、「学士（薬学）」の学位を授与します。

(1) 専門力

- ・ 薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識を備えている。
- ・ 医療の進歩に関心を払い、生涯にわたり学び続けることができる。

(2) 情報収集、分析力

- ・ 高度化・複雑化する医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる。

(3) コミュニケーション力

- ・ 薬の専門家として多様な患者に対するコミュニケーション能力を備えている。
- ・ 薬の専門家としてチーム医療に必要なコミュニケーション能力を備えている。

(4) 協働・課題解決力

- ・ 薬の専門家としての基礎的な科学力・研究能力を備えている。
- ・ 薬の専門家として安全で適切な薬物療法に責任を持ち、患者や医師・看護師等に対する確かな情報提供を行うことができる。
- ・ 薬の専門家として後進の指導に当たる意欲と教育能力を備えている。

(5) 多様性理解力

- ・ 患者・生活者本位の視点、倫理観及び責任感を持って地域医療・保健・環境衛生に参画することができる。

《カリキュラム・ポリシー（本学科のディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程編成方針）》

本学科では、全学共通科目・薬学専門科目に加え、本学建学の理念である「人間尊重」を重視した独自の科目を加えた体系的なカリキュラム（学位プログラム）を通じて、ディプロマ・ポリシーに示す素養および能力を有する学生の育成を実施します。

A. 教育内容

初年次教育や教養教育に関しては、全学のディプロマ・ポリシーに従って展開します。

また、全授業科目を通して、社会人・医療人・薬剤師として必要な基本的教養、および「人間尊重」に基づく豊かな人間性を身につけます。

○ 専門科目

- ① 早期体験学習・臨床体験学習・ヒューマニズム教育等を通して、社会が求める医療人としての責任感・倫理観、医療人として生涯学び続ける心構えを修得します。
- ② 薬学教育専門科目を、順次性を持って学修することで、薬剤師に必要な知識と技能を効率よく修得します。
- ③ 薬学実務実習を通して、幅広い薬剤師業務に必要な知識、技能、態度を修得します。

- ④ 他学部と連携した高齢者医療・在宅介護に重点をおいた科目を通して、予防医学や地域医療に貢献できる薬剤師としての実践力を修得します。
- ⑤ 薬学の専門知識と技能の融合を目的とした総合演習科目を通して、薬剤師としての実践力を修得します。
- ⑥ 卒業研究を通して、深い専門性、研究する心と態度、問題発見・解決の能力、さらに後進の指導にあたる能力を修得します。

B. 教育方法

- ① 入学から卒業まで、担任教員が中心となって一貫した個別指導を実施します。
- ② 初年次教育では基礎科目において少人数クラス授業を導入、多様な入学者が主体的な学びを実践できるように配慮します。
- ③ 講義・実習・演習など様々な教育方法を用いて、ディプロマ・ポリシーに示す素養および能力（専門力、情報収集・分析力、コミュニケーション力、協働・課題解決力、多様性理解力）の育成を図ります。また、外部評価者が参加する科目では、客観的な視点を取り入れた教育・評価を実施します。
- ④ アクティブ・ラーニングを全授業科目に導入することで、能動的学習態度を醸成します。

《アドミッション・ポリシー（本学科が受け入れ、教育したいと考えている入学者像）》

本学科は、本学の基本理念である「人間尊重」を理解する医療人（薬剤師）を育成するために、本学の教育方針を理解し、将来医療に従事する者として非喫煙を含め自らの健康に留意するとともに、主体的に学修を進めることができる学生を求めています。

また、入学後の学修において、化学系薬学、生物系薬学、物理系薬学の3つが基礎的な分野となることから、「化学」、「生物」、「物理」の基礎をしっかりと学習しておくことが重要です。したがって、大学での履修を円滑にするために、学力の維持または向上に入学前から取り組む必要が有ります。

そのため本学科では、入学者を適正に選抜するために、「学生募集要項」に記載している多様な入試方法を用いて、本学が求める資質・能力を多面的・総合的に評価します。

- ① 高等学校の履修内容を幅広く、積極的に学習している人。
- ② 他者への思いやりを持ち、ボランティア活動や課外活動等を通して社会に奉仕することができる人。
- ③ 社会においては、まわりの意見に耳を傾け、協調して行動できる人。
- ④ 進歩著しい医療の世界で必要な絶えず学び続ける強い意志と向上心を持っている人。
- ⑤ 地域医療に貢献することに関心や意欲を持っている人。
- ⑥ 大学で獲得した知識や能力を医療の発展に活かしたいと考えている人。

学校法人
九州文化学園グループ

◆ 学校法人九州文化学園グループ

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ■ 長崎国際大学 | ❖ 社会福祉法人 和敬会 三川内保育園 |
| ■ 長崎短期大学 | ❖ 社会福祉法人 世知原福祉会 |
| ■ 九州文化学園高等学校 | 養護老人ホームグリーンホーム |
| ■ 九州文化学園高等学校衛生看護専攻科 | 特別養護老人ホームパールホーム |
| ■ 九州文化学園中学校 | ❖ 一般社団法人 是真会 |
| ■ 九州文化学園小学校 | 長崎リハビリテーション病院 |
| ■ 認定こども園九州文化学園幼稚園 | ❖ ザ・グローバルズ株式会社 |
| ■ 九州文化学園歯科衛生士学院 | ❖ 南風崎 MG レジデンス株式会社 |
| ■ 九州文化学園調理師専門学校 | |

◆ 沿革

◇ 学校法人の沿革

- | | |
|--------------|------------------------|
| 昭和 20 年 12 月 | 九州文化学院創立 |
| 昭和 22 年 2 月 | 財団法人九州文化学院設置認可 |
| 昭和 26 年 2 月 | 学校法人九州文化学園へ組織変更認可 |
| 平成 7 年 11 月 | 学校法人九州文化学園創立 50 周年記念式典 |
| 平成 18 年 3 月 | 学校法人九州文化学園創立 60 周年記念式典 |
| 平成 27 年 11 月 | 学校法人九州文化学園創立 70 周年記念式典 |



■ 長崎短期大学

《沿革》

- | | |
|-------------|--|
| 昭和 41 年 4 月 | 九州文化学園短期大学設置 |
| 昭和 47 年 4 月 | 九州文化学園短期大学幼児教育学科設置 |
| 昭和 60 年 4 月 | 九州文化学園短期大学を長崎短期大学に名称変更 |
| 平成 元年 4 月 | 長崎短期大学英語科設置、専攻科福祉専攻設置 |
| 平成 7 年 4 月 | 長崎短期大学専攻科英語専攻設置 |
| 平成 8 年 4 月 | 長崎短期大学専攻科食物栄養専攻設置 |
| 平成 12 年 4 月 | 長崎短期大学幼児教育学科を保育学科に名称変更 |
| 平成 14 年 4 月 | 食物科調理師・製菓衛生師養成課程へ変更
全学科男女共学に変更 |
| 平成 20 年 4 月 | 専攻科保育専攻開設 |
| 平成 22 年 4 月 | 保育学科介護福祉専攻開設 |
| 平成 25 年 4 月 | 長崎短期大学英語科を国際コミュニケーション学科に名称変更 |
| 平成 29 年 2 月 | 創立 50 周年記念式典 |
| 令和 2 年 4 月 | 食物科、保育学科介護福祉専攻、国際コミュニケーション学科を「地域共生学科」へ改組 |



■ 九州文化学園高等学校

《沿革》

- 昭和 20 年 11 月 九州文化学院設立申請
- 昭和 22 年 2 月 九州女子専門学校昇格認可
- 昭和 23 年 4 月 九州女子専門学校附属中学校設置
- 昭和 25 年 2 月 九州女子専門学校を佐世保専門学校に改名
- 昭和 26 年 2 月 財団法人九州文化学園を学校法人九州文化学園へ組織変更
- 4 月 九州文化学園高等学校設置（普通科）
- 昭和 42 年 4 月 九州文化学園高等学校食物科設置
- 昭和 45 年 4 月 九州文化学園高等学校衛生看護科設置
- 昭和 50 年 10 月 九州文化学園高等学校保育科設置
- 平成 8 年 4 月 九州文化学園高等学校衛生看護専攻科設置
- 平成 12 年 4 月 保育科を保育福祉科に名称変更
- 平成 18 年 4 月 佐世保市椎木町(長崎短期大学隣接地)に移転
男女共学（普通科ビジネスコースを除く）に変更
食物科を食物調理科に名称変更
- 平成 24 年 4 月 全学科男女共学に変更



■ 九州文化学園中学校・九州文化学園小学校

《沿革》

- 平成 31 年 4 月 九州文化学園中学校・九州文化学園小学校設置



■ 認定こども園 九州文化学園幼稚園

《沿革》

- 昭和 29 年 4 月 九州文化学園幼稚園設置
- 平成 18 年 4 月 佐世保市上町に移転
- 平成 27 年 4 月 認定こども園 九州文化学園幼稚園に変更



■ 九州文化学園 調理師専門学校

《沿革》

- 昭和 46 年 4 月 九州文化学園調理師専修学校設置
- 平成 18 年 4 月 佐世保市藤原町に移転
- 平成 28 年 4 月 九州文化学園調理師専門学校に名称変更（専門課程）
修業年限1年制から2年制へ移行



■ 九州文化学園 歯科衛生士学院

《沿革》

- 昭和 56 年 4 月 九州文化学園歯科衛生士学院設置
平成 18 年 4 月 佐世保市藤原町に移転
修業年限 2 年制から 3 年制に移行
令和 5 年 4 月 全学男女共学に変更

❖ 社会福祉法人 世知原福祉会（グリーンホーム・パールホーム）

《沿革》

- 昭和 48 年 2 月 社会福祉法人 世知原福祉会設立
4 月 養護老人ホーム（グリーンホーム）
事業開始
昭和 51 年 4 月 特別養護老人ホーム（パールホーム）
事業開始
平成 8 年 1 月 世知原町在宅介護支援センター事業開始



❖ 社会福祉法人 和敬会

《沿革》

- 昭和 40 年 5 月 佐世保三川内保育所設置
平成 14 年 4 月 三川内保育所委託事業所の決定
により、社会福祉法人和敬会設立
受託運営を開始
平成 19 年 8 月 三川内保育園認可



❖ 一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院

- 平成 20 年 2 月 1 日 開院
リハビリテーション科、脳神経外科
入院(病床数等)143 床（全て回復期リハビリテーション病床）



❖ 南風崎 MG レヂデンス株式会社（長崎日本語学院を含む）

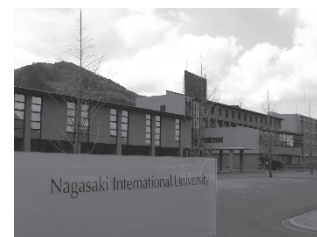
《沿革》

- 平成 21 年 10 月 「南風崎 MG レヂデンス」へ改称
令和 3 年 3 月 九州文化学園グループとして事業開始



◇ 大学の沿革

- 平成 11 年 12 月 22 日 長崎国際大学設置認可
(人間社会学部／国際観光学科、社会福祉学科)
- 平成 12 年 4 月 1 日 長崎国際大学開学
人間社会学部国際観光学科、社会福祉
学科開設
- 平成 12 年 4 月 6 日 長崎国際大学 第 1 回入学式
- 平成 13 年 12 月 20 日 健康管理学部健康栄養学科設置認可
- 平成 14 年 4 月 1 日 健康管理学部健康栄養学科開設
- 平成 15 年 11 月 27 日 大学院人間社会科学研究科（修士課程）設置認可
- 平成 16 年 4 月 1 日 大学院人間社会科学研究科（修士課程）開設
- 平成 17 年 12 月 5 日 薬学部薬学科設置認可
- 平成 17 年 12 月 5 日 大学院健康管理学研究科（修士課程）設置認可
- 平成 18 年 1 月 28 日 大学院人間社会科学研究科（博士後期課程）設置認可
- 平成 18 年 4 月 1 日 薬学部薬学科開設
大学院健康管理学研究科（修士課程）開設
大学院人間社会科学研究科（博士後期課程）開設
- 平成 22 年 11 月 27 日 創立 10 周年記念式典
- 平成 25 年 10 月 31 日 大学院薬学研究科（博士課程）設置認可
- 平成 26 年 4 月 1 日 大学院薬学研究科（博士課程）開設



◆ 大学の現況（令和 4 年 5 月 1 日現在）

- ◆ 大学名 長崎国際大学
- ◆ 所在地 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7
- ◆ 学部構成 3 学部 4 学科 3 研究科 5 専攻

人間社会学部	国際観光学科、社会福祉学科
健康管理学部	健康栄養学科
薬学部	薬学科
人間社会科学研究科	観光学専攻（修士課程）、社会福祉学専攻（修士課程） 地域マネジメント専攻（博士後期課程）
健康管理学研究科	健康栄養学専攻（修士課程）
薬学研究科	医療薬学専攻（博士課程）
- ◆ 学生数

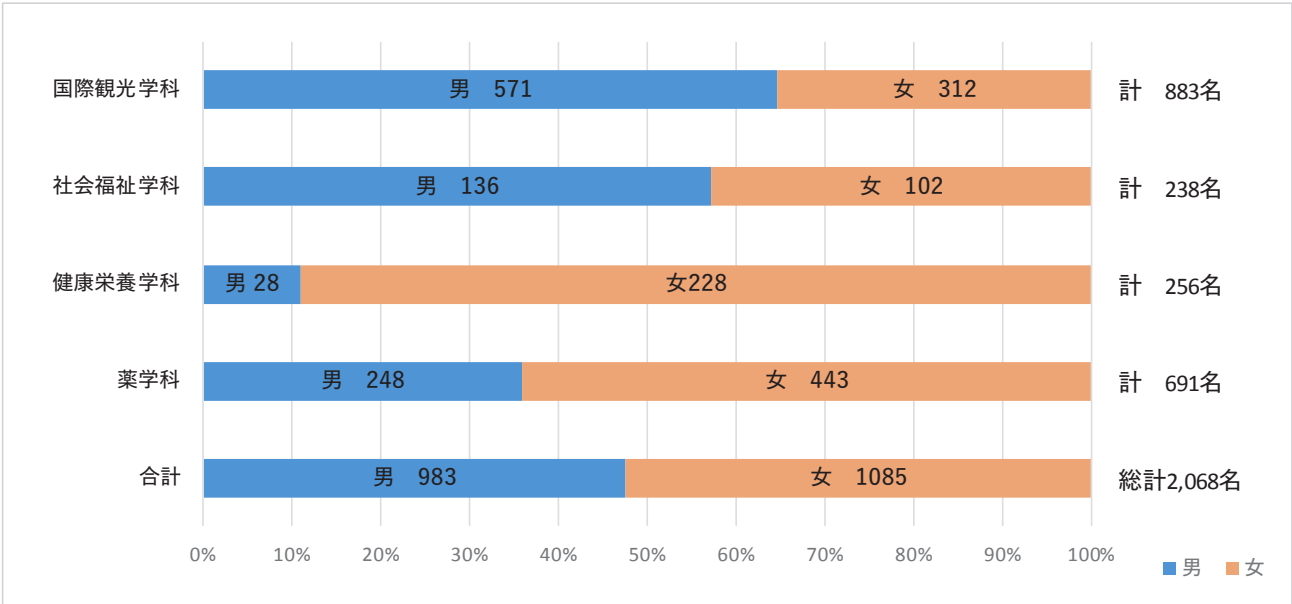
人間社会学部	1,137 人
健康管理学部	289 人
薬学部	687 人
人間社会科学研究科	27 人（修士課程：22 人、博士後期課程：5 人）
健康管理学研究科	6 人
薬学研究科	8 人
- ◆ 教員数 専任教員数 120 人、助手 9 人
- ◆ 職員数 83 人（契約職員、パート職員含む）

◆ 在学生の状況

出身県別学生数（大学院生含） 令和5年5月1日現在〔人〕

九州・沖縄		その他の県					
長崎	918	高知	1	大阪	3	千葉	1
佐賀	193	愛媛	3	滋賀	2	埼玉	1
福岡	211	山口	13	愛知	2	群馬	1
熊本	134	広島	15	静岡	1	青森	1
大分	60	岡山	1	石川	2		
宮崎	57	島根	3	新潟	1		
鹿児島	129	鳥取	1	神奈川	2		
沖縄	127	兵庫	3	東京	3		

◆学科別在学生男女比(令和5年5月1日現在)



国籍別留学生数(令和5年5月1日現在)

留学生数 219人（学部：202人、大学院：17人）

◆留学生の国・地域別在籍数（学部）

国・地域	在籍数
中国（香港含）	104
韓国	59
ベトナム	18
台湾	2
ミャンマー	6
スリランカ	10
ネパール	2
ウクライナ	1

◆大学院

国・地域	在籍数
中国	16
ベトナム	1

情報公開 地域連携

1. 公開している情報について

本学では Web 上の公式サイトにおいて、多様な文書を公開しています。

(<https://www1.niu.ac.jp> : トップページ上部の【情報公開】より閲覧可能)



公式サイトに掲載している情報一覧	
学校法人 九州文化学園の 情報公開へのリンク (kyubun.ed.jp)	学校法人九州文化学園「情報公開」 《財務諸表》 財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書 貸借対照表、監査報告書(写)、事業活動収支構成、事業活動収支の経年推移 《寄附行為》 《役員 の 状況》 理事・監事、評議員、役員の報酬等の支給の基準 《中期計画》 令和3年度～令和7年度(5ヶ年) 《事業計画書》 《事業報告書》 《学生数・教職員数》 《その他計画・指針等》 次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する 法律に基づく一般事業主行動計画 労働施策総合推進法に基づく中途採用比率の公表 校舎等の耐震化率について 学校法人九州文化学園教育・学習データ活用ポリシー
財務状況について	長崎国際大学 財務情報について分かりやすく加工した資料
学則	長崎国際大学 学則及び別表 長崎国際大学大学院 学則
障がい を理由とする 差別の解消の推進に 関する法律への対応	長崎国際大学における障がい を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応 要領 長崎国際大学における障がい を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応 要領における留意事項 障がい を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応概要図 苦情申立てに対する体制及び手順
教育情報の公表	「教育研究上の基礎的な情報」についての公表資料 「修学上の情報等」についての公表資料 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画 教育研究活動の状況を多面的に把握しうる情報 地元地域及びその他の地域からの学生の受入状況(出身高校の都道府県別在籍学 生数)
動物実験に関する 情報	長崎国際大学 動物実験施設並びに実験動物使用実績
設置に関する情報	薬学部薬学科 設置計画の概要 薬学部薬学科 設置に係る設置計画履行状況報告書の概要 薬学研究科医療薬学専攻 設置計画の概要 薬学研究科医療薬学専攻 設置に係る設置計画履行状況報告書の概要 収容定員に係る学則変更
養成課程に関する情 報	人間社会学部社会福祉学科 介護クラスについて
職業実践力育成プロ グラム(BP)に関する 情報	【履修証明プログラム】地域の福祉リーダー育成講座 【履修証明プログラム】地域おこしに貢献する観光まちづくりリーダーの育成 職業実践力育成プログラム(BP)の自己点検・評価

大学機関別 認証評価について	令和1(2019)年度大学機関別認証評価について 平成26年度大学機関別認証評価について 平成21年度大学機関別認証評価について 平成19年度大学機関別認証評価について
自己点検・評価について	自己点検・評価報告書 自己評価21(薬学部・薬学科) 《平成26年度 薬学研究科》 大学院4年制博士課程における平成26年度自己点検・評価 《平成31年度 薬学研究科》 大学院薬学研究科自己点検・評価結果 長崎国際大学大学院薬学研究科シラバス
薬学教育第三者評価 について	平成29年度 薬学教育第三者評価について
教職課程における 自己点検・評価について	令和4年度教職課程自己点検評価報告書
教学IR情報の公表	1. 学生の修学時間と修学実態 2. 授業評価結果 3. 学修成果 単位修得状況 4. 学位授与数 5. 資格取得実績 資格試験合格者数や合格率 6. 就職等進路に関わる実績 就職率、大学院進学率等 7. 受け入れ及び派遣留学の状況 8. 卒業生アンケート調査結果 9. 教員個人による諸活動についての報告書(ティーチング・ポートフォリオ) 10. 相互評価
学術情報等の公開に ついて	オープンアクセス方針
産学連携の取組状況 の公表について	産学連携の取組状況(共同、委託研究) 長崎国際大学 研究シーズ集
課外活動制限レベル について	新興ウイルス感染症等における課外活動レベルについて
外部資金の獲得実績	1. 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金等 2. 受託事業や共同研究に伴う研究経費等 3. 民間企業等や同窓会等、個人より得た寄付金等
研究活動の不正防止	研究費の適正な管理と運営、不正行為の防止に関する規程類
大学等における修学 の支援(高等教育無償 化)に関する機関要件 確認のための情報公 開 (法人及び大学公式 サイトの既存コンテ ンツへのリンクを含 む。)	1. 確認申請書 2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表 3. 理事(役員)名簿 4. シラバス 5. 客観的な指標の算出方法 6. 卒業の認定に関する方針 7. 財務諸表 8. 事業計画 9. 自己点検・評価の結果 10. 認証評価の結果 11. 教育研究上の目的 12. 卒業の認定に関する方針 13. 教育課程の編成及び実施に関する方針 14. 入学者の受入れに関する方針 15. 教育研究上の基本組織に関すること 16. 各教員の有する学位及び業績 17. GPAの活用状況 18. 学生の学修状況に係る参考情報 19. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること 20. 教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法
本学教員の研究業績	本学教員の研究業績

2. 財務状況について

1) 学校法人会計について

学校法人は、目的とする教育研究活動を行うにあたって必要な施設設備、また経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から補助金（以下「私学助成」）の交付を受けています。私学助成を受けるすべての学校法人は、私立学校振興助成法の定める「学校法人会計基準」により、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

(1) 計算書類について

学校法人会計基準では、以下の計算書類を作成することが定められております。

- ①資金収支計算書 当該年度の資金の流れを示す計算書です。
- ②事業活動収支計算書 当該年度の収支の内容、均衡の状態を示します。
- ③貸借対照表 資産や負債の状況を示します。

各計算書類の役割は次のとおりです。参考として企業会計で作成する財務諸表を併記します。

	学校法人会計	企業会計
計算書類 と役割	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	当該年度の支払資金のてん末を表示し、資金の流れの把握を行う。	当該年度の資金の源泉と用途を表し、資金の流れの把握を行う
	事業活動収支計算書	損益計算書
	当該年度の収支均衡の状態を表し、収支と採算性の把握を行う	当該年度の損益の状態を表し、損益と採算性の把握を行う
	貸借対照表	貸借対照表
	会計年度末時点の資産、負債、基本金等の内容と金額を表し財務状況の把握を行う	会計年度末時点の資産、負債、基本金等の内容と金額を表し財務状況の把握を行う

企業会計は、その年度の収益と費用を正しく捉え、事業状況を明確にし、収益力をより高めることを主たる目的としています。一方、学校法人は、公共性の高い教育研究活動を遂行することを事業目的とし、その活動の継続性と健全性が求められることから、学校法人会計では中長期的に収支のバランスと財政状態を正しく捉えることを目的としています。

(2) 学校法人会計基準に基づき作成する計算書類

①資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度におけるすべての収入および支出の内容と、支払資金（現預金）の収入および支出のてん末を明らかにすることを目的としています。この計算書の特徴として資金収支調整勘定があります。通常の収支計算は、支払資金の収入と支出のみを対象としています。学校法人会計の資金収支計算書においては、当該年度の活動に属すべき前年度以前の収入・支出や、翌年度以降の収入・支出とされるものについて調整勘定を用い、支払資金のてん末を明らかにします。

②事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度における「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容を明らかにして経営状態を測定するとともに、収支均衡の状況を示すものです。学校法人

の活動を ①教育活動収支 ②教育外活動収支 ③それ以外の活動(特別収支)に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。その合計を「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。収支の均衡の状態は「当年度収支差額」で判断します。

③貸借対照表

貸借対照表は企業会計における貸借対象表と基本的に同じ機能を持っており、当該会計年度末時点における財政状況を表すものです。企業が、株主からの資本金で成り立っているのに比べ、学校法人は自らが資本的な裏付けを積み上げていく必要があります。そのため、純資産の部には「事業活動収支計算書」で記載される基本金を積み上げていくこととなります。

基本金は、学校法人が教育研究活動を行う上で必要な資産の額で、建物や機器備品等の固定資産や基金として積み立てた資金等の額を示しています。第 1 号基本金から第 4 基本金があります。

第 1 号基本金: 設立当初や設立後の新たな学校の設置・規模拡大、教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

第 2 号基本金: 将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額。

第 3 号基本金: 奨学基金等の基金として保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。

第 4 号基本金: 恒常的に保持すべき資金。

2) 勘定科目について

各収支表における勘定科目について、下表にて説明いたします。

資金収支・事業活動収支計算書に共通の勘定科目	
学生生徒等納付金収入	教育活動の対価として、在学または入学を条件に所定の額を納付いただくものです。
手数料収入	その会計年度に実施する入学試験や、在学証明書等の証明書を発行する際の手数料等による収入です。
寄付金収入	用途指定のある「特別寄付金収入」と、用途指定のない「一般寄付金」収入とがあります。
補助金収入	国、または地方公共団体から交付される補助金収入です。
資産運用収入	受取利息や配当金、施設設備の利用料等です。
事業収入	外部から研究委託を受ける受託事業収入や学内で催す公開講座などの受講料、学生寮の寮費等です。
雑収入	帰属する上記各収入以外の収入を指します。
人件費支出	教職員に支給する本俸や期末手当、またはその他の手当や所定福利費等に要する支出をいいます。
教育研究経費支出	教育・研究のために要する支出をいいます。
管理経費支出	総務・人事・会計業務や学生募集活動、補助活動など、教育・研究活動以外に要する支出をいいます。
借入金等利息支出	借入金に対して支払う利息です。

3) 本学の収支状況全般について

(1) 本学の教育活動収支

教育活動収支の概略は次表のとおりとなっております。

(千円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年差異
学生生徒等納付金	2,926,911	2,813,906	2,724,107	▲ 89,799
手数料	41,207	39,700	38,858	▲ 842
寄付金	55,841	111,605	12,068	▲ 99,537
補助金	633,559	614,060	621,756	+ 7,696
付随事業収入	182,779	216,472	140,614	▲ 75,858
雑収入	98,953	126,178	121,346	▲ 4,832
教育活動収入 合計	3,939,250	3,921,921	3,658,749	▲ 263,172
人件費	1,746,692	1,768,098	1,745,907	▲ 22,191
教育研究経費	1,403,978	1,324,682	1,372,970	+ 48,288
管理経費	354,592	373,555	383,665	+ 10,110
その他	3,435	3,530	3,059	▲ 471
教育活動支出 合計	3,508,697	3,469,865	3,505,601	+ 35,736
(減価償却費除く)	3,280,589	3,225,894	3,254,047	+ 28,153
教育活動収支差額	430,553	452,056	153,147	▲ 298,909
基本金組入前当年度収支差額	453,481	473,234	162,007	▲ 311,227

(2) 教育活動収支に見る本学の財務概況

2022(令和4)年度は、財務の健全性を維持するため、経常収支差額のプラスを確保することを指標に設定し財政運営を行ってまいりました。

収入の部においては、学生数の減少により納付金収入が前年度対比 89 百万円減少、経常費補助金においては大学改革推進等補助金(ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業) 9.9 百万円の採択により 7 百万円増加しました。寄付金収入は 99 百万円減少しました。前年度において受配者指定寄付金 100 百万円の配布申請を行い寄付金計上いたしましたので、これを要因とした差異となります。付随事業収入においては、疾患検査センターによる PCR 検査料収入が新型コロナウイルス感染症の拡大減少とともに減少し、前年度比 75 百万円の減少となりました。これらの要因により事業活動収入は前年度比 263 百万円減少しました。

支出の部においては、人件費が 22 百万円減少しました。教育活動経費においては光熱費の高騰および、対面授業や各種実習の再開による手数料支出等経費の増加、また教育環境の改善を目的とした修繕費等の増加等により 48 百万円増加しました。管理経費においても、学生寮の委託管理費の増加やウクライナ避難民学生の受入れ経費等により 10 百万円増加しました。

結果として基本金組入前当年度収支差額は 162 百万円の収入超過(黒字)となり、経常費収支差額のプラスを確保することはできましたが前年度より 311 百万円の減少となりました。

本学の財務状況については、平成 24 年度より連続して基本金組入前当年度収支差額段階での黒字を計上しております。今後も中期計画に掲げている諸政策を通して収入増と支出減の両立を図り、更に安定した財務基盤を維持、発展させ、教育研究活動を進めてまいります。

4) 事業活動収支関連指標

(1) 事業活動収支計算書の主要指標

事業活動収支計算書及び消費収支計算書から計算する主要指標は次表のとおりです。

	比 率	計算式	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	人件費比率	人件費 経常収入	44.3%	45.1%	47.7%
2	人件費依存率	人件費 学生生徒納付金	59.7%	62.8%	64.1%
3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	35.6%	33.8%	37.5%
4	管理経費比率	管理経費 経常収入	9.0%	9.5%	10.5%
5	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入－基本金組入額	95.6%	94.1%	98.9%
6	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金 経常収入	74.3%	71.7%	74.5%
7	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	1.9%	2.8%	0.7%

(2)主要指標の解説および状況

	比 率	状 況
1	人件費比率	人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率です。人件費は学校における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因になります。令和 4 年度は、学生数の減少をはじめとする経常収入の減少により、前年度に比べ比率が増加しましたが適正水準の範囲となります。今後も適正水準を保てるよう努めてまいります。
2	人件費依存率	人件費の学生生徒等納付金に対する割合を示す関係比率です。一般的に、人件費は学生生徒等納付金の範囲内に収まって 100%を超えないことが理想的です。令和 4 年度は学生生徒等納付金の減少により前年度に比べ増加していますが、今後も適正水準を保てるよう努めてまいります。
3	教育研究経費比率	教育及び研究に係る経費の経常収入に対する割合です。本指標については、教育及び研究に係る経費であることから、比率としては一定水準を維持することが望ましいと考えております。本学は 30%を超えており適正水準にあると判断できます。
4	管理経費比率	管理経費の経常収入に対する割合です。比率としては低い方が望ましいとされています。令和 4 年度におきましては、学生寮における管理委託費の増加、ウクライナ避難民学生の受入れ経費等により前年度比が増加しました。今後とも効率的な運営に努めて参ります。
5	基本金組入後収支比率	事業活動支出の事業活動収入から基本金組入額を減じた額に対する割合を示す関係比率で、この比率が 100%未満であると当年度収支差額が収入超過（黒字）となります。本学においては、令和 4 年度も引き続き黒字を計上しております。
6	学生生徒納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合です。令和 4 年度は、前年度より 2.8%増加しております。今後は、安定的な外部資金の獲得や寄付金の受領により納付金への依存率を下げていくことが求められます。
7	寄付金比率	寄付金の経常収入に占める割合です。一定水準の寄付金収入を継続して確保することが経営の安定のためには望まれます。令和 4 年度は前年度より 2.1%減少しております。今後は、学内の寄付金募集体制を充実させ、一定水準の寄付金の安定的な確保に努めてまいります。

【地域連携室、スポーツ支援・振興室 Topics】



【多目的グラウンド竣工～】

2023 年 4 月、長崎県北部地域初の全面人工芝グラウンドとなる多目的グラウンドが完成。授業や部活動での活用に加え、一般利用を通じて地域スポーツ振興への貢献を目指します。

【NIU キッズキャンパス】

小学生を対象とした、子ども版公開講座として実施。学生が主体となり、本学の教育・スポーツ環境を利用し、小学生に学びの場、体験する場を提供する。



【強化指定部、地域清掃活動参加】

佐世保市民大清掃の一環として、本学の強化指定部寮である「南風崎 MG レヂデンス」、並びに自治会の呼びかけにて清掃活動に参加した。この活動には、男子バレーボール部、ソフトテニス部、駅伝部、野球部が参加し、地域の皆様と協力して実施。

【地域連携室、スポーツ支援・振興室 Topics】

【EV 試乗会】

本学開国際にて、九州電力送配電(株)長崎支社による EV 試乗会を実施。学生など次世代層への EV 認知度向上が目的。試乗体験では車両型(2 種類)、バイク型、電動キックボードの 4 種類から本学駐車場内を試乗。また、EV からの外部給電デモンストレーションも行った。



【九州文化学園小学校学童と本学強化指定部

(バレーボール部、男子テニス部) との連携】

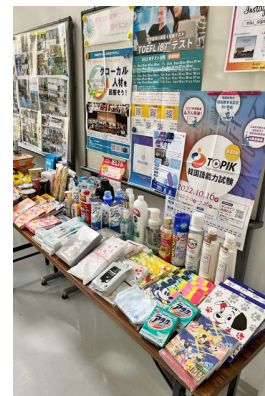
花園学童クラブの子ども達と本学強化指定部バレーボール部と男子テニス部が小学生 1～4 年生にバレーボールとテニスの体験活動を実施。



【SDGs】地域で考える

「食・物」循環と支援プロジェクト

コロナ禍を地域社会が協力して乗り越えよう、さらに SDGs の「食品ロス・食品ドライブ」の観点から、地方公共団体、各種団体より学生に対して、お米、野菜、缶詰、マスク等の支援を受け実施。これまで、この活動により支援を受けた学生は延べ人数で約 2,800 人。



薬学部
薬学科

学部長挨拶

医療そして薬剤師を取り巻く環境は日々変化しています。このような時代において、大学・薬学部は医療やサイエンスに関する新しい知識や確かな情報を集積・発信する機能が求められています。長崎国際大学薬学部は、50 名を超える専任教員が高い研究アクティビティを発揮し、「知の拠点」としての役割を十分果たしていると考えます。（本冊子および本学薬学部 HP の「研究紹介」にてご確認ください。）

また、地方において不足している若い薬剤師を多数輩出することは、地域医療を支えていくためにも必須です。長崎国際大学薬学部では、大学のモットーである「いつも、人から。そして、心から。」を念頭に置いて、地域医療に貢献できる質の高い薬剤師の育成を目指して教育を行なっています。2023 年で設立から 17 年が経過し、すでに 1,000 名を超える本学卒業の薬剤師が主に九州各地で活躍しています。

長崎国際大学薬学部の教職員一同は、ご子息・ご息女の学業・国家試験合格はもとより、大学生活、就職、そして生涯にわたる薬剤師としての研鑽に関わり続けていきたいと願っています。引き続きご協力を宜しくお願いいたします。

学科長挨拶

保護者の皆様には、日頃より長崎国際大学薬学部の教育に格別のご支援とご高配を賜り心からお礼申し上げます。

さて、2020 年より急拡大した新型コロナウイルス感染症は、本年 5 月 8 日から「5 類感染症」に位置づけられることとなりましたが、感染者数は高止まりのままであり、本学でも with コロナを念頭に教育・研究活動に取り組んでおります。

この新型コロナウイルスの出現により、薬剤師のオンライン服薬指導の実施体制が整備され、また最近では「地域連携薬局」、「専門医療機関連携薬局」の認定制度が導入されるなど、これからの薬剤師には、さらに高度な専門性が求められています。これらも踏まえて本学部では、これからの薬剤師に必要な専門知識を備え、卒業後も自己研鑽できる薬剤師の育成を推進しています。

昨年度、多くの学生が卒業研究の成果を様々な学会で発表し、日本薬学会第 143 年会において 2 名、日本女性科学者の会 第 14 回学術大会において 1 名が優秀発表賞を受賞しました。コロナ禍での研究活動の制限下、学業と両立させた受賞は、本学にとって非常に喜ばしい知らせでした。詳細は本冊子に掲載されておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後も、教職員一丸となって、ご子息・ご息女の教育に邁進する所存です。ご不明な点やご要望等がございましたら、担任教員または大学までご連絡ください。



薬学部 1 年生の学習内容と学生生活

薬学部 1 年生の年間スケジュール

4月 入学式・オリエンテーション・フレッシュマンセミナー

期待と不安の入学式

オリエンテーションでは、大学生活、履修指導、進級要件や国家試験について説明がありました。

フレッシュマンセミナーでは、中富記念くすり博物館（佐賀）に出かけ薬の歴史を学び、教員や新しい友人との親交を深めました。

6月 中間試験

基礎の化学・生物・物理、機能形態学など今後、薬学を学ぶ上で基礎となる重要な科目について中間試験が行われました。

8月上旬 定期試験

はじめての大学での定期試験でした。結果については保護者の方にも、お知らせ済みですので、ご確認ください。

8～9月 夏休み

長期の休みを利用して、普段の大学生活では体験できないような活動をしている学生もいます（ボランティア、アルバイト、旅行など）。夏休みに限らず、成人となった学生には様々なトラブルとの遭遇の可能性が高まります（アルコール、薬物、カルト、詐欺・悪徳商法など）。危険性があることには近づかないようにすることが賢明です。

9月 後期授業開始

後期は薬学部においては様々な専門科目が増えます。難易度が高くなるので気を引き締めて勉強に臨む必要があります。

10月 早期体験学習

教養セミナーB（後期）の一環として、薬局、病院、行政現場への見学学習があります。将来、薬剤師として何ができるか、何がしたいかを早期から考えてもらう体験学習です。

10月 保護者会

これまで学生の成績や学習態度（出席状況）、学生生活について、担任および教職員にお尋ねください。

1 年生の学生生活に関するアンケート結果

出身地	人数	比率
長崎県	34	33.7%
佐賀県	13	12.9%
福岡県	14	13.9%
大分県	3	3.0%
熊本県	7	6.9%
宮崎県	3	3.0%
鹿児島県	14	13.9%
沖縄県	8	7.9%
兵庫県	1	1.0%
北海道	1	1.0%
韓国	3	3.0%

住まい	人数	比率
自宅（実家）	35	34.7%
1人暮らし（アパート）	41	40.6%
チューリップ（女子寮）	9	8.9%
ブルーメンダール（女子寮）	13	12.9%
下宿	2	2.0%
その他	1	1.0%

通学方法	人数	比率
徒歩	42	41.6%
自転車	14	13.9%
電車	20	19.8%
バス	11	10.9%
電車とバス	7	6.9%
自家用車	1	1.0%
バイク	2	2.0%
送迎	2	2.0%
その他	2	2.0%

通学時間	人数	比率
5分以内	20	19.8%
10分程度	28	27.7%
30分程度	22	21.8%
1時間程度	18	17.8%
2時間程度	12	11.9%
2時間以上	1	1.0%

長崎県出身者が最も多く、佐賀県と福岡県を含めると約 50%となります。自宅から通学する学生 34.7%、アパートや寮の学生が 64.4%です。また通学時間は 1 時間以内の学生が 87.1%、2 時間以上の学生は 12.9%になりますが、上位学年になるに従い自学時間が増えるため、高学年になると大学の近隣のアパートに引越してくる学生が増える傾向となります。



1年生で履修する主な科目について

教養セミナー

大学生活を行うための基礎的なスキルを身に付けます。後期には早期体験学習（前ページ参照）として病院、薬局、行政現場の見学も予定されています。

茶道文化

本学の特色である茶道文化に触れ、日常生活でも役立つ礼儀作法や「おもてなしの心」を学びます。

コンピューター基礎演習

基本的な Word や Excel の使い方を学び、今後のレポート作成等に役立つ技能を身に付けます。



基礎の化学・基礎の生物学・基礎の物理学・基礎の数学

高校までに履修していない科目や苦手な科目があっても、これから始まる薬学専門科目の講義に備えて基礎力を身に付ける科目です。習熟度に応じてクラスを分けて少人数教育を行っています。

薬学入門・在宅医療概論

薬学の歴史、様々なフィールドで活躍されている薬剤師・医師・看護師など専門職種の方から専門知識や在宅医療の基礎知識を身に付け、将来、活躍する分野を考える基盤を修得していきます。

薬学専門科目

薬学を学ぶ上で基礎となる科目も少しずつ始まっています。2年生から本格的に始まる専門科目の土台となる重要な科目です。



・薬化学総論・有機薬化学・機能形態学（生理学・解剖学）・生化学・分析化学

1年生学年主任から保護者の方へ

どれも薬学部において大切な科目ですが、**1年生にとって何が重要なのか**と言うと、それは**自学の時間**です。昨年1年生の1週間あたりの自学時間は7.72時間ですので1日1時間しか復習予習ができていないことになりますが、薬学部ではその**2倍以上の自学時間**が必要です。**最低1日2時間以上の自学時間が目標**となります。通常講義は1科目15回の講義があり、前期10科目であれば合計150回の講義のうち、**3～5回以上欠席する学生は留年する**というデータが本学にあります。本学では自学時間を増やすため、各科目において補講が実施されていますが、すでに6月までに**3回以上欠席している学生が5名程度**います。これでは薬剤師の資格を得どころか進級するのも難しくなります。ぜひ保護者の方々には、学生の欠席状況を担任と共に注意を払っていただけたらと考えています。

本学では、特別補講だけでなく Student Assistant (SA) 制度などの様々なサポート体制を用意しておりますので、是非、有効活用して頂きたいと存じます。そして、ストレート進級と卒業、その先の薬剤師免許取得に向けて、大学教職員は全力でバックアップいたします。保護者様におかれましてはご子息・ご息女への暖かいご助力、ご支援とお声かけをよろしくお願い申し上げます。

1年生学年主任の紹介（これから4年生までの4年間、我々がお世話させていただきます）



高井 伸彦
放射線薬学研究室
専門分野：放射線治療学



出口 雄也
衛生化学研究室
専門分野：衛生化学



波多江 日成子
臨床検査学研究室
専門分野：臨床検査学



薬学部2年生の学習内容と学生生活について

この度はお忙しいところ、本学薬学部の保護者懇談会にご参加いただき誠にありがとうございます。以下、1年次から現学年全体を担当させて頂いている学年主任から「2年生の学習内容と学生生活」について紹介させていただきます。

現2年生(124名)は、高校時代から本学入学後の1年次において、新型コロナウイルス感染防止のために、授業時間の制限やオンライン講義など様々な学習の制約を受けざるをえませんでした。したがって基礎学力の低下が懸念されたことから、藤田学部長が主導となって特に基礎系科目(物理、化学、生物)を中心に少人数制の追加補習(1年前期のプレイスメントテストや各科目の随時試験の成績が振るわない学生を対象)を1年次に実施することで補完してまいりました。しかし、誠に残念ながら結果的には10人の原級留置学生(1年次留年生)を生むに至っております。我々教員はこのような結果を真摯に受け止めると共に、問題点を洗い出して今後の教育の充実に努める所存です。

本年6月よりコロナ禍による様々な制約を全面的に撤廃する本学の方針から、コロナ禍以前の“通常”の学生生活を取り戻すと同時に、学生の自学自習のため講義室の日曜日解放や担任との個人面談の機会を増やすなど、学習環境と教育指導法の更なる改善に取り組んでいる現況です。

2年生の履修科目は、ほとんどが薬学専門基礎科目であり、3年次以降の専門応用科目に繋がる基礎的な学習内容ばかりで、極めて重要です。もちろん、これら全ての内容が「薬学共用試験(4年次)」および「卒業試験、薬剤師国家試験(6年次)」の出題範囲でもあります。したがって、本学年における学習内容について理解を伴って知識の定着を図ることは、薬剤師を志す者にとって最も重要であり、全科目の単位を確実に修得することが求められます。このような視点から、本学薬学部では2年生から3年生への進級要件が最も厳しく(ハードルが高く)設定されています(表1)。

1週間の時間割(表2)は、毎日のように90分間の講義が4～5回実施される上に、木曜日と金曜日には実習科目が午後に配置され、各々の実習(写真1および2)にレポート作成が課されています。したがって、いわゆる“息抜き”が十分にできる学年とは思いませんが、タイトなスケジュールの合間を縫って、サークル活動やアルバイトなどを楽しんでいる学生も少なくありません。

表1：2年次から3年次への進級要件

① 2年次必修専門科目のうち、未修得が3科目

以下であること

- ・ 「専門基礎学習Ⅰ」、「ホスピタリティ演習Ⅰ」も各1科目である。

② 2年次に配当された実習科目を全て修得すること

- ・ 必ず出席して、レポートを期日までに提出すること！

③ 1年次必修専門科目を全て修得していること

「薬学入門」、「物理学演習(3)」、「分析化学Ⅰ」、「放射線化学」、「化学演習(3)」、「薬化学総論」、「有機薬化学Ⅰ」、「機能形態学Ⅰ」、「生化学Ⅰ」、「機能形態学Ⅱ」、「医療生命倫理」

表2：2年次時間割

前期	1講時	2講時	3講時	4講時	5講時
月	分析化学演習	公衆衛生学Ⅰ	分析化学Ⅱ	薬学統計学	コンピュータ基礎演習ⅡA
火	有機薬化学Ⅱ	地球環境と倫理		薬品物理化学Ⅰ	
水	放射線医療学	生化学Ⅲ	茶道文化ⅡA	専門基礎学習Ⅰ	
木	臨床医学概論	生化学Ⅱ	機能形態学実習/分析化学・放射線化学実習		
金	生薬学Ⅰ	薬理学Ⅰ	機能形態学実習/分析化学・放射線化学実習		
後期	1講時	2講時	3講時	4講時	5講時
月	機器分析学	免疫学	機能形態・生化学演習	薬剤学	薬品物理化学Ⅱ
火	細胞生物学	生物有機化学	生薬学Ⅱ	薬理学Ⅱ	コンピュータ基礎演習ⅡB
水	疾病学Ⅰ	衛生化学Ⅰ	茶道文化ⅡB	専門基礎学習Ⅰ ホスピタリティ演習Ⅰ	
木	薬品物理化学演習(2)		有機薬化学実習/生化学実習/生薬学実習		
金	公衆衛生学Ⅱ	微生物学	有機薬化学実習/生化学実習/生薬学実習		

普通文字：薬学専門科目、斜体文字：全学共通科目



写真1:「機能形態学実習」発表と討論



写真2: 分析化学・放射線化学実習

後期においては、「ホスピタリティ演習Ⅰ」の臨床体験学習として長崎リハビリテーション病院（写真3）へ出向く予定です。医療現場において実施するこの授業は、薬学部に入學して早期に実臨床を体験するという位置づけ（早期体験学習）であると同時に、薬剤師に求められる人間力（薬剤師としての心構えや医療人としてのコミュニケーション能力など）を培うためのヒューマンズ教育科目です。座学による薬学専門科目と学内実習が続く中で、学外にて実施されるアクティブラーニング（自ら動いて得られる学び）は、薬学生となった早い段階で「薬剤師」という職業の“やりがい”を感じることができる絶好の機会であると確信しております。

2年生学年主任から保護者の方へ

上記のように2年次はハードなカリキュラムですが、学生の皆さんは本当によく頑張っています。保護者の皆様におかれましてもご子息・ご息女の日々の努力を実感されておられると存じます。そこで、我々教職員からのお願いですが、定期的なお声掛けや、時にお褒め頂くなど、保護者様からの暖かいご助力、ご支援を頂戴できればと存じます。学生さんが壁に当たってしまった時、強力な後押しになると確信しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



写真3:長崎リハビリテーション病院
（長崎市銀屋町）

2年生学年主任の紹介 （4年生まで我々がお世話させていただきます）



教授 山口 拓
薬物治療学研究室
専門分野：薬物治療学・薬理学



准教授 山田 耕平
医薬品化学研究室
専門分野：有機化学



講師 末廣 真理恵
医療情報学研究室
専門分野：薬学実務

3 年生の学習と学生生活について

3 年学年主任（小林秀光・石原知明・中村沙織）

この度はお忙しいところ、本学薬学部保護者懇談会にご参加いただき誠にありがとうございます。ようやくコロナ禍も落ち着き、全ての科目において対面授業の実施が可能になりました。

現3年生（117名）は、コロナ対策により入学時から2年間リモートまたはオンデマンド主体の授業となったことから、学力の低下が懸念されておりました。そこで、1年次には学年主任と薬学教育支援センター主導による少人数制の追加補習（各科目の成績が思わしくない学生を対象）を実施し、また昨年度より学生の自学自習のため講義室の日曜日解放や担任との個人面談の機会を増やす等、学習環境と教育指導法の改善に取り組んできました。しかし、誠に残念ながら結果的に19人の原級留置学生（ストレート進級）を生むに至りました。私たち教員はこのような結果を真摯に受けとめ反省すると共に、問題点を洗い出して今後の更なる教育充実に努める所存です。

3年生の履修科目のほとんどが薬学専門科目であり、4年次以降の薬学臨床科目に繋がる大切な学習内容ばかりです。もちろん、これら全ての内容が「薬学共用試験（4年次）」および「薬剤師国家試験（6年次）」の出題範囲でもあります。従って、本学年における学習内容について理解を伴った知識の定着を図ることは薬学生にとって大変重要であり、全科目の単位を確実に修得することが求められます。このような視点から、本学薬学部では3年生から4年生への進級要件を厳しく設定（ハードルを高く）しています（表1）。

1週間の時間割（表2）は、毎日のように90分間の講義が4回実施される上に、科目によっては中間試験（写真1）、木・金曜日には実習科目が5講目まで配置され（表3）、各々の実習にはレポートが課されています（写真2）。従って、2年生に引き続き、いわゆる“息抜き”が出来る学年とは思えませんが、タイトなスケジュールの合間を縫ってサークル活動やアルバイト等に力を入れている学生も少なくありません。

表1. 2年次から3年次への進級要件

- ✓ **3年次必修専門科目のうち、未修得が3科目以下であること。**
 - ・「専門基礎学習II」「ホスピタリティ演習II」も1科目である。
- ✓ **3年次に配当された実習科目を全て修得すること**
 - ・必ず出席して、提出期限までにレポート等を提出すること。
- ✓ **2年次必修専門科目を全て修得すること**
 - 【前期】薬学統計学、薬品物理化学Ⅰ、分析化学Ⅱ、有機薬化学Ⅱ、生薬学Ⅰ、生化学Ⅱ、生化学Ⅲ、公衆衛生学Ⅰ、地球環境と倫理、臨床医学概論、薬理学Ⅰ
 - 【後期】ホスピタリティ演習Ⅰ、薬品物理化学Ⅱ、機器分析学、生物有機化学、生薬学Ⅱ、微生物学、細胞生物学、免疫学、公衆衛生学Ⅱ、衛生化学Ⅰ、疾病学Ⅰ、薬剤学、薬理学Ⅱ
 - 【通年】専門基礎学習Ⅰ

表2. 3年次科目時間割

前期	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時
月	環境化学	薬学英語	裁判科学	構造解析学	
火	臨床栄養学	医薬品科学Ⅰ	衛生科学Ⅱ		
水	疾病学Ⅱ	薬理学Ⅲ	茶道文化ⅢA	専門基礎学習Ⅱ ホスピタリティ演習Ⅱ	
木	分子生物学	和漢薬概論	物理化学実習／衛生薬学実習／ 微生物学・免疫学実習		
金	感染防御学		物理化学実習／衛生薬学実習／ 微生物学・免疫学実習		

後期	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時
月	医薬品化学Ⅱ	薬物治療学Ⅰ	医療統計学	薬理学Ⅳ	
火	製剤学	臨床薬物代謝学	臨床検査学		化粧品学
水	分子細胞生化学演習	茶道文化ⅢB		専門基礎学習Ⅱ	
木	病院薬学	病原微生物学	臨床生理学実習／薬剤学実習／薬理学実習		
金	医薬品情報論	毒性学	臨床生理学実習／薬剤学実習／薬理学実習		

黒字：必修科目、青字：選択科目、緑字：全学共通科目

表3. 学内実習科目

前期	4/13～5/11 (7回)	5/18～6/8 (7回)	6/15～7/13 (9回)	後期	9/21～10/12 (7回)	10/19～11/16 (7回)	11/24～12/21 (8回)
3年	物理化学実習 T6302 市川 和洋 出口 雄也 榎本 彩乃 吉田 達貞 波多江 日成子	衛生薬学実習 T6302 長岡 寛明 佐藤 博 出口 雄也 相田 美和	微生物学・免疫学実習 T6201 小林 秀光 小川 由起子 岸原 健二 田中 宏光 藤本 司 藤本 京子 倉間 卓也	臨床生理学実習 T6201 隈 博幸 小川 由起子 太田 一寿 高崎 伸也 松下 博昭 波多江 日成子	薬剤学実習 T6302 梶島 力 神谷 誠太郎 藤井 佑樹 川崎 達也 松下 博昭	薬理学実習 T6201 山口 拓 西奥 剛 縄田 陽子 福森 良	



**写真1.「感染防御学」
中間試験(6/9)**



写真2. 衛生薬学実習(5/18 - 6/8)



6月7日の「ホスピタリティ演習Ⅱ」において、佐賀県伊万里市の回生薬局様のご協力のもと、東洋医学体験学習が実施されました(写真3)。わが国の薬学教育は西洋医学をベースにしたカリキュラムで構成されていますが、この授業では「未病(発病には至らないものの健康な状態から離れつつある状態)」を防ぐという東洋医学の考え方を学習するものです。このような学習項目は、幅広い知識を求められる薬剤師の「10の資質(図1)」のうち、主に人間力(生活者本位の視点を持つことや患者とのコミュニケーション能力等)を培うヒューマンズ教育のひとつです。座学による薬学専門科目と学内実習が続く中、自ら動いて得られる学び(アクティブラーニング)は、薬剤師という職業の“やりがい”を感じ取るひとつの清涼剤となるのではないでしょうか。



写真3. ホスピタリティ演習Ⅱ(太極拳・ヨガ・ハーブティ作り)

ハードなカリキュラムが続きますが、学生の皆さんは本当によく頑張っています。保護者の皆様におかれましてもご子息・ご息女の日々の努力を実感されておられると思います。

そこで、私たちからのお願いですが、定期的なお声掛けや、時にお褒めいただくなど、保護者様の暖かいサポートを頂戴できればと存じます。ご子息・ご息女がもし壁に当たってしまった時、強力な後押しになると思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

図1: 薬剤師に求められる10の資質

1. 薬剤師としての心構え
2. 患者・生活者本位の視点
3. コミュニケーション能力
4. チーム医療への参画
5. 基礎的な科学力
6. 薬物療法における実践的能力
7. 地域の保健・医療での実践的能力
8. 研究能力
9. 自己研鑽力
10. 教育能力

人間力

薬学専門力

思考・判断力



4年生の学習内容と学生生活

4年生学年主任：長岡寛明，縄田陽子，中島健輔

4年次の講義は、5年次の実務実習を踏まえたより実践的な講義および実習の割合が増えたものとなっており、薬学生としての自覚をさらに促すカリキュラムとなっています。一方、5年次進級には共用試験（CBT、OSCE）の合格が必須ですが、CBTは1～3年次の基礎系の科目内容も試験範囲になることから、復習の機会も兼ねた専門演習Ⅰまたは総合演習Ⅰが通年科目として実施されます。CBTの合格を確実なものとするため、夏期休暇期間、CBT直前に外部業者による講習会、年5回の模擬試験も行われます。進級が確定した学生は研究室に配属され、卒業研究、実務実習に取り組むことになります。

進級のためには、1) 弱点の強化（苦手科目を作らない）、2) コツコツ勉強する習慣、3) 自分の勉強法の確立（CAIの利用、間違いノート作成など）、4) ストレスをためないことが重要です。特に3)に関しては、学内のCAI試験の正答率でCBTの合格率や国家試験の合格率が予想できるデータもあることから利用を強く推奨しています。昨年度の4年生の進級率は86.6%（97/112名）でした。今年度は全員の進級及び国試合格に向けた1段上の力を養うことを目標とし、教員一丸となりサポートしていきます。

4次カリキュラムでの4年次専門科目

<必修科目>

前期

微生物薬品学
薬物治療学Ⅱ
薬物動態学
臨床心理学
調剤学
薬局管理・経営学
薬事関係法規

後期

ホスピタリティ演習Ⅲ
日本薬局方概論
薬物治療学Ⅲ

<実習科目>

調剤Ⅰ
調剤Ⅱ
医療コミュニケーション
処方箋解析
総合実習

合計：5科目（9単位）

通年
専門演習Ⅰ

合計11科目（18単位）

薬学部教務スケジュール（4年生関連）

《前期》

授業期間： 4月10日(月)～7月27日(木)
試験期間： 7月29日(土)～8月9日(水)
追再試験期間： 8月19日(土)～8月30日(水)
CBT体験受験（予定）： 9月1日(金)

《後期》

授業期間： 9月21日(木)～12月22日(木)
1月5日(木)～1月22日(月)
大学祭(開園祭)： 10月29日(土)～10月30日(日)
OSCE本試験（予定）： 12月17日(日)
CBT本試験（予定）： 1月11日(木)
試験期間： 1月24日(水)～2月3日(土)
追再試験期間： 2月19日(月)～2月29日(木)
CBT追再試験（予定）： 2月15日(木)
OSCE追再試験（予定）： 2月18日(日)



講義（専門演習Ⅰ）（左）と実習（調剤Ⅱ）（右）風景

薬学共用試験

6年制薬学教育では臨床能力の伸長ならびに向上が求められており、「見学型」ではなく「参加型」の実務実習が導入されています。しかし、参加型実務実習では薬剤師の資格を持たない薬学生が調剤や服薬指導等の薬剤師業務を実践することから、法律上の問題が発生します。そのため、参加型実務実習を実施する上でいくつかの整備すべき条件が決められています。その条件の一つである「学生が適切な薬学知識、技能、態度を有すること」を確認するために、実務実習参加に必要な薬学知識は CBT (Computer-Based Testing)、技能および態度については OSCE (Objective structured clinical examination) にて評価します。これら2つの試験を合わせて「薬学共用試験」と呼びますが、この薬学共用試験に合格することが実務実習に行くための必須条件となっています。

CBT (Computer-Based Testing)

学生が基本的な知識を有していることを証明する必要があるため、そのために全国の大学が協力して作成した共通問題による CBT 試験が実施されています。下記には、昨年度の共用試験の合格者数を示していますが、合格者数／受験者数で示される本学合格率の 2009 年から 2020 年までの平均は 96.8%、2020－2022 年度は 100%であり、毎年 100 名程度の合格が見込まれます。本学においては進級率や CBT 合格率の向上を目指し、他大学では利用されていない PC やタブレット端末、携帯を利用した学習システム (CAI) を運用しており、コロナ禍においても自主学習の環境を無料で提供し、入学時から学んだ知識を復習できる環境を整えています。

OSCE (Objective structured clinical examination)

薬学共用試験 OSCE (「オスキー」といいます) では 5 つの試験領域 (患者・来局者対応、薬剤の調製、調剤鑑査、無菌操作の実践、情報の提供) から通常 6 課題が出題され、実地試験や模擬患者が参画するシミュレーションテストが行われます。受験生は 6 つの課題を順番に受験していき、6 課題すべてにおいて基準点以上の得点があれば合格と判定されます。本学では、通常、4 年次の 12 月に OSCE を実施いたしますが、OSCE に対応するために必要な学習を 4 年次の 4 月から 12 月に開講される実務実習事前学習で行います。実務実習事前学習での学習内容を修得すれば、OSCE は決して難しい試験ではありません (昨年の合格率は 99%)。各学生が、OSCE にしっかりと対応できるよう細やかな指導に努めて参ります。

2022 年度薬学共用試験結果

	実施日程	合格者数	合格基準
CBT	本試験 2023 年 1 月 17 日	97 人	正答率 60%以上
OSCE	本試験 2022 年 12 月 18 日 追再試験 2023 年 2 月 19 日	106 人	細目評価 70%以上 概略評価 5 以上
共用試験		97 人	

5 年生 薬学実務実習（薬局・病院）

6 年制薬学教育では、臨床に関わる実践的能力の伸長ならびに向上のために、見学型ではなく参加型の実務実習が導入されています。薬学生は指導薬剤師の指導の下、調剤や患者さんに直接的に服薬指導を行うことで、臨床的な実践力を醸成します。現在の薬学実務実習は、通常、薬局実習、病院実習を 11 週間ずつ続けて行います。実習受け入れ機関は、受け入れ可能人数枠を設定しており、病院・薬局実務実習地区調整機構が実習先の調整を行います。九州・山口地区においては、各大学が位置する県で実習することが原則ですが、佐世保地区で本学のすべての学生を受け入れる人数枠がないため、学生の一部は、ふるさと実習として出身地区の実習施設に割り当てられます（下表の実習実施県の実績をご参照ください）。他大学の実習生についても同様の調整が行われるので、必ずしも希望する施設にならないことがあることをご了承ください。実務実習は実習施設毎のスケジュールに従って行われます。実習期間中、大学教員は、実習日誌や施設訪問などにより進行状況を確認して、必要に応じて助言等を行います。

実務実習は、薬学生が知識的ならびに技術的に大きく飛躍する機会ですが、医療現場で行われるため感染予防も含めた健康管理が非常に重要です。実習期間中、実家から通学する実習生については、ご家庭での健康管理面におけるサポート等を是非ともよろしくお願いいたします。

表 令和 4 年度および令和 5 年度の薬学実務実習実施人数（県別・実績）

実務実習実施県	令和 4 年度実務実習		令和 5 年度実務実習	
	薬局実習	病院実習	薬局実習	病院実数
山口県	0	0	0	0
福岡県	19	16	15	15
佐賀県	11	11	11	11
長崎県	43	42	40	42
熊本県	7	8	4	2
大分県	4	6	4	4
宮崎県	1	1	1	2
鹿児島県	9	10	11	10
沖縄県	4	4	9	9
九州・山口県以外	0	0	2	2

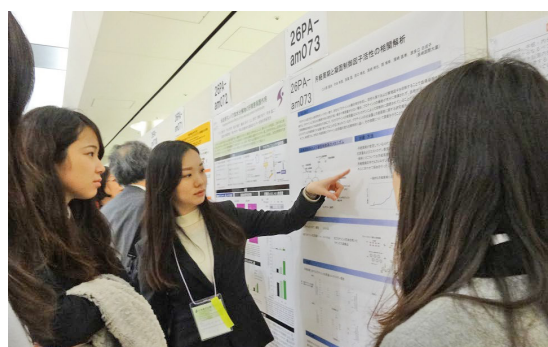
6 年生の学習内容と学生生活

6 年次に進級すると、5 年次に引き続き「卒業研究」に取り組みつつ、大学における薬学教育の集大成として「薬学アドバンス科目」「総合演習科目」を履修します。

「卒業研究」では、学生自らが主体となって研究目的・方法を考え、文献調査や実験から得た結果について深く考察することによって、薬剤師として必要な知識・技能・態度を修得します。毎年 9 月には全ての 6 年生と教員が参加する「卒業研究発表会」を開催し、その成果について発表します。また、新たな発見や顕著な進歩がみられた研究については、日本薬学会をはじめとする各専門領域の学会において学生自身が発表することも積極的に行われています。



卒業研究発表会の様子



学会（日本薬学会年会）発表

「総合演習」は、過去の国家試験問題や出題傾向を踏まえた上で、6 年間の学修を総括する演習科目として実施されています。国家試験で出題される 9 領域を網羅したレベルの高い演習に取り組むことにより、将来の薬剤師業務に必要な、かつ来るべき国家試験に充分対応可能な知識の習得を行います。この科目では、年 5 回行われる「単位認定試験」の他、前週の演習内容を基に出題される「週間試験」を毎週実施し、学修の定着を図っています。

また、近い将来薬剤師として医療を担う人材となることから、本学の特色である「茶道」を通じたホスピタリティ教育を行い、患者や他の医療従事者とのコミュニケーションの在り方について考察する機会を設けているのも特長のひとつとなっています。



「総合演習ⅢA」ホスピタリティ・ヒューマニズム教育（茶道）

【国家試験対策とサポート】

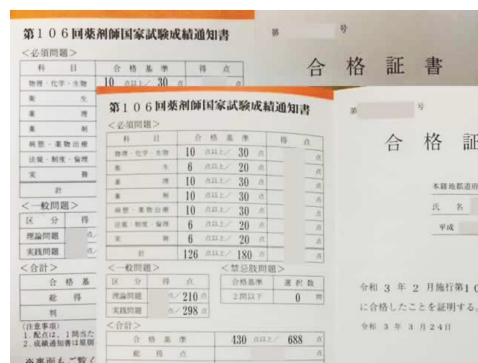
薬剤師国家試験は、毎年2月中旬～3月上旬ごろに2日間にわたり実施されています。本学では、国家試験合格に向けて万全のサポート体制を整えています。前述の「総合演習」の他、学外講師による「国家試験対策講習会」（前期4週間、夏期4週間、冬期7週間）と年6回の全国模試を実施し、学生一人一人の弱点把握と補強に努めています。成績の振るわない学生や伸び悩みがみられる学生に対しては、担任教員や国試対策委員教員と随時面談を行うことにより、学習環境の改善やモチベーションが維持できるよう心掛けています。

さらに例年9月頃「6年生対象保護者会」を開催し、学生の現状を教員、保護者がしっかりと把握することにより、国家試験への意識を高めています。

薬剤師国家試験は例年福岡県が受験会場となっており、本学では現役受験生全員に対し同一の交通手段と宿泊先を確保する「国試受験ツアー」を実施しています。試験前の煩わしい予約作業の手間を省き、また日頃から常に努力してきた友人や教職員と行動を共にすることによって、国試直前の緊張緩和や受験生にとって安心できる環境の提供などに役立っています。



国家試験出発の様子



薬剤師国家試験 合格証書

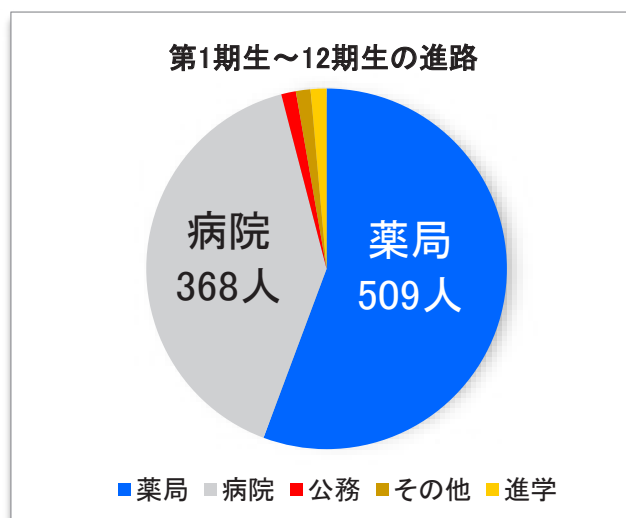
【卒業生数・国家試験合格者数】

2022年度、本学薬学部の新卒業生数は72名（うちストレート卒業65名）、国家試験合格者は64名（同61名）で新卒合格率は88.9%でした。新卒の卒業生数、国試合格者数は増加傾向にあり（右表）、現在は第12期生までの1,097名が卒業、うち約93%にあたる1,016名が薬剤師免許を取得し、医療現場や行政、教育機関などさまざまな分野で活躍しています。

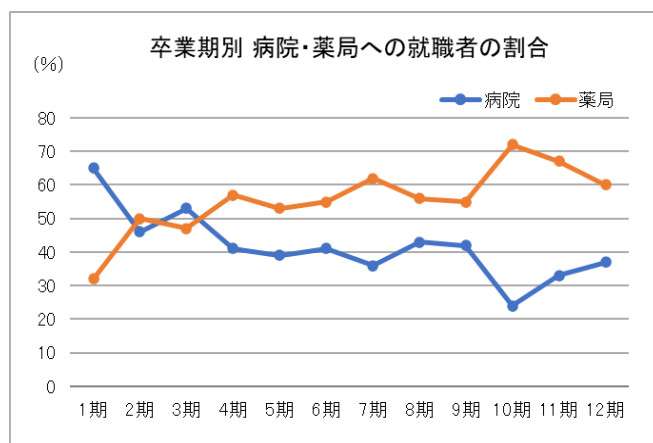
入学年度 (期)	入学数	卒業生数 (春新卒)	国試年度 (回)	新卒 合格者数	新卒 合格率	本学（既卒込） 合格者数
2011まで (1-6期)	597	378		294	77.8	421
2012 (7期)	115	71	2017 (103回)	64	90.1	87
2013 (8期)	139	90	2018 (104回)	78	86.7	100
2014 (9期)	133	84	2019 (105回)	71	84.5	101
2015 (10期)	131	95	2020 (106回)	79	83.2	104
2016 (11期)	122	92	2021 (107回)	72	78.3	106
2017 (12期)	119	72	2022 (108回)	64	88.9	97

表. 本学の卒業・国家試験の状況

卒業生の進路・就職状況について



※卒業時の就職内定・進路決定先



1期卒生(2012年卒)～

12期卒生(2023年卒)

内、就職者数 901 名+進学者数 13 名
(就職者数：卒業時点での就職者として大学が把握している数)

薬 局 55.7% (509 名)

病 院 40.2% (368 名)

公 務 1.3% (12 名)

その他 1.3% (12 名)

進 学 1.4% (13 名)

病院への就職者の割合が全国平均より高いのが本学の特徴であったが、薬局への就職者の割合が増加の傾向にある。

コロナ禍での就職活動において、病院見学中止等の影響により、一時更に病院への就職者の割合が減ったが(10期卒)、その後微増に転じている。

主な就職先

【病院】

佐世保市総合医療センター
長崎大学病院
佐賀大学病院
九州大学病院
宮崎大学病院
鹿児島大学病院
中頭病院
国立病院機構
地域医療機能推進機構 等

【薬局】

東ファーマシー
井手薬品
今泉調剤薬局
らいふ薬局
MIZ
大賀薬局
総合メディカル
日本調剤
アイン 等

【公務】

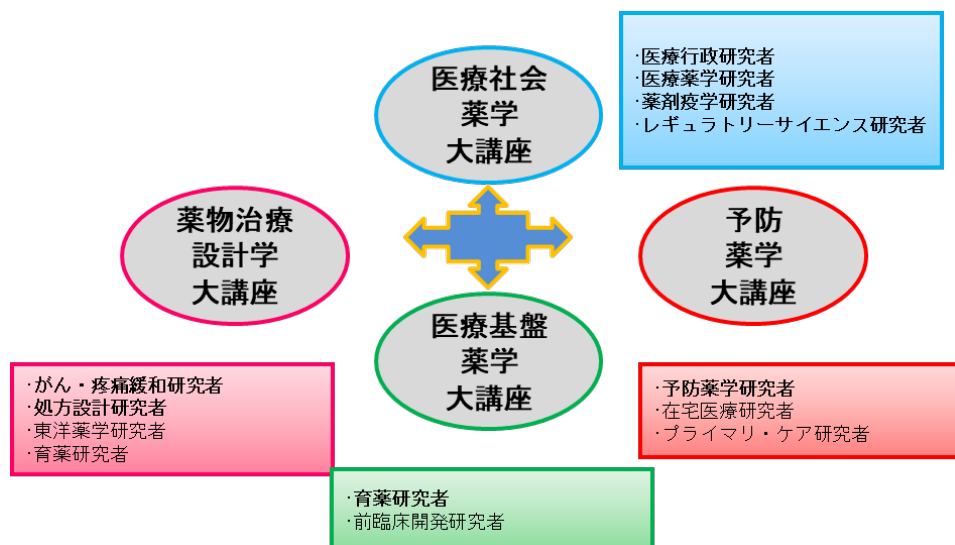
九州各県、市の職員
厚生労働省 麻薬取締部 等

【その他】

アストラゼネカ
大塚製薬
大鵬薬品工業
新日本科学 PPD
血液センター 等

大学院薬学研究科の紹介

医療の高度化、超高齢社会化の社会ニーズを踏まえ、高度医療、医療行政などの職域で、実践的な研究能力を有する優れた医療系薬学研究者を育成し、地域・国際社会に貢献することを目指して、本学には大学院薬学研究科（博士課程、4年制）が設置されています。本研究科は、医療社会薬学、薬物治療設計学、予防薬学、医療基盤薬学の4つの大講座で構成されています。大学院生は自分の希望する分野で研究成果を上げ、博士（薬学）の学位を獲得することができます。薬剤師としての資格に加えて博士号を取得することで、専門分野の第一人者へのキャリアの第一歩を踏み出すことができ、活躍の場が大きく広がります。



薬学研究科医療薬学専攻の教育課程

令和元年度からは薬学部卒業者以外にも門戸を開き、大学院講義を夜間、あるいは土曜に開講するなど学びやすいカリキュラムを整えることで、社会人の方には、仕事を継続したまま学位取得を目指すことが可能なカリキュラムを用意しています。また、好成績の大学院生を各年度1名助手として4年間採用する制度があり、教育・研究活動を支援しています。平成26年度の開設以来、これまでに9名の博士号取得者を送り出してきました。修了生、在校生の多くが本学薬学部卒業生で、薬学部卒業後、または病院薬剤部・薬局勤務を経て、現在、8名の大学院生（社会人大大学院生3名を含む）が教育・研究に勤しんでいます。



2022年度 研究進捗状況報告会の様子

サークル等紹介

薬学サッカーサークル

月曜日と水曜日に活動しています。場所は新設された多目的グラウンド(人工芝)です。みんなで楽しくサッカーをやっており、九薬連という大会にも参加します。



薬学テニスサークル



大学のテニスコートを借りて、週 1,2 回程度練習を行っています。現在は、約 25 名のメンバーが所属しており、テニス未経験のメンバーも多く、楽しく活動しています。今年は九州地区薬学テニス大会の幹事となり大会の運営をしました。団体戦では男女とも準優勝の成績でした。

薬学野球サークル

九州地区薬学準硬式大会(5月)、医歯薬学部準硬式リーグ戦(9、10月)に毎年参加しています。コロナ禍も明けたことで、今年は新入生歓迎会なども行い、親交を深めて楽しく活動しています！



薬学バスケットボール同好会



隔週水曜日に体育館2面コートで練習しています。初心者もたくさん参加しており、男女問わず楽しく活動しています。

NIU きのこ倶楽部(同好会)

昨年10月に創部したばかりの同好会です。6月現在、部員は57名に増えました。北部九州に生息するキノコの調査、キノコをモチーフにしたキャラクター造り等、活動内容は様々です。来年度のサークル昇格を目指して精力的に活動しています。



薬学部設備紹介

薬学部には最新鋭の教育・研究機器が備わっており、様々な場面で活用されています。また、薬学部付属薬用植物園は、講義や実習での学びの場として、また学生の憩いの場として活用されています。

【研究設備】

PCR などの遺伝子解析機器をはじめ、タンパク質解析機器・質量分析装置・核磁気共鳴装置・電子顕微鏡・共焦点蛍光顕微鏡など、多岐にわたる分野の研究活動をサポートする数千万円クラスの研究機器が揃えられています。これらの機器により、充実した卒業研究が可能となっています。

－ 1 階共同機器室 －



－ 質量分析器 －

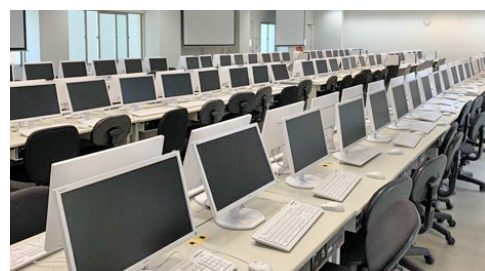


－ 核磁気共鳴装置 －

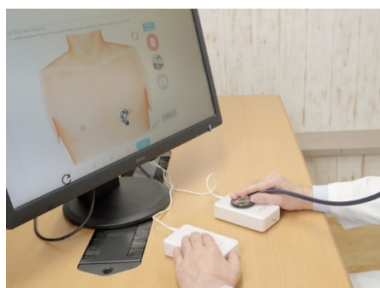


【教育設備】

本学では右写真のようなコンピューター演習室を複数完備しており、IT を活用した教育システムを導入しています。このシステムは、学生全員の習熟状況を定期的にモニタリングすることを可能とし、個々の状況に応じたきめ細かい対応の実施につながっています。



また、本学は令和3年度に「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業（文部科学省）」に選定されており、これまで対面のみで実施してきた学生実習に新たにデジタルトランスフォーメーション機器を導入して実習環境を充実させています。



フィジカルアセスメント（患者の身体状態の確認）技能シミュレーターの一部

薬学科

【薬用植物園】

薬学部附属薬用植物園は 2006 年に開園し、現在、薬草 120 種、薬木 60 種程度の植物を保有しています。薬木と薬草の 2 つのエリアに分かれており、「ニュートンのリンゴ※」などがあり、学生から親しまれています。なお、本植物園は大学行事などにより学内立ち入りが制限される日を除いて、自由に見学可能です。

※「ニュートンのリンゴ」は、有名な「万有引力の法則」のヒントを得たとの逸話が残る英国のリンゴの木に由来するもので、現在世界各地にその子孫の木を見ることができます。昭和 39 年に英国から日本に送られ、現在小石川植物園（東京大学理学部附属植物園）に植えられている樹から分与していただきました。

薬用植物園



ニュートンのリンゴ



薬草エリア



薬木エリア



【ボタニカルアートライブラリー】

ボタニカルアートライブラリーは、植物学的な絵画とともに、描かれた植物について説明したものです。正山征洋名誉教授・特任教授にご執筆いただいております。毎月の更新しております。右の QR コードからご覧ください。

(URL はこちら: <http://niu.pharmacog.jp/library.html>)



薬学特待生制度と奨励賞

本学には入学時特待制度に加え、薬学部独自の特待生制度があります（薬学部特待生制度）。薬学部特待生は、入学時特待生以外の学生から、その年度の学業成績をもとに毎年選抜されます。

薬学部特待生も入学時特待生と同様に S から C の 4 段階（2019 年度以前の入学者は S を除く 3 段階）あり、S は授業料が 100%免除され、その他は A75%（2019 年度以前の入学者は 100%）、B50%、C25%の免除率となっています。審査は成績によって算出される GPA（Grade Point Average）を用い、GPA3 以上の学生を対象に、学年内の順位を基に上位から選定しています。GPA の詳細は「履修の手引き」を参照してください。

惜しくも薬学部特待生に選ばれなかった学生の中から、「荒川正幸奨励賞」と「薬学部学業奨励賞」という 2 つの表彰制度によって、表彰状と副賞が授与されます。さらに、今泉調剤薬局様の寄付による奨励賞として「今泉貴世志奨励賞」があり、特待生を含む全ての学生の中から、実力試験の成績上位者に対して表彰状と副賞が授与されます。

令和 4 年度各種奨励賞の表彰式が、令和 5 年 4 月 27 日（木）に薬学部において行われました。「今泉貴世志 奨励賞」は 15 名、「荒川正幸奨励賞」と「薬学部学業奨励賞」は合わせて 27 名の学生が選ばれました。

これらの制度は学生の学業意欲を向上させ成績アップに寄与しています。



表彰式の様子



「今泉貴世志奨励賞」受賞者



「荒川正幸奨励賞」受賞者



「薬学部学業奨励賞」受賞者

薬学部学生の研究紹介：感染制御学研究室

① 凝集誘起発光性化合物による癌の光線力学療法

光線力学的治療（Photodynamic therapy：PDT）は、腫瘍組織や新生血管に親和性のある光感受性物質を投与した後、光感受性物質に固有の特定波長の光線を照射して化学反応を引き起こすことで腫瘍組織を選択的に変性、壊死させる治療法です。この治療法は、腫瘍組織周辺の正常組織へのダメージが少なく、局所的にがんアプローチできる新しいがんの根治的治療法として近年注目を集めています。しかしながら現在保険適用されている光感受性物質は、光線過敏症（副作用）や価格（高価）の面での課題があるのが現状です。そこで、副作用が少なくコストが低い医薬品の開発を目的に武庫川女子大学薬学部・薬品分析学研究室の萩森政頼教授（前長崎国際大学教員）らと共同研究をはじめ、萩森らが新たに開発した凝集誘起発光性化合物を用い、各種ヒトがん細胞に対する抗腫瘍効果のスクリーニング及び作用機序の検討を行いました。開発した11種類のピラノキノリチン化合物のうち数種類に特定波長照射により、未照射に比べて有意ながん細胞増殖抑制効果が認められました。未照射では細胞毒性が認められないことから、副作用が少なく、コストが低い医薬品として期待が持てると考えられます。この研究内容は、日本女性科学者の会第14回学術大会（令和4年12月4日開催）において、当研究室の6年鈴木美裕さん（発表時5年生）が発表し、学生優秀発表賞（受賞タイトル：凝集誘起発光性化合物による癌の光線力学療法）を受賞しました。



② 今知りたい！理系進学で広がる未来 リケフェス2022（2022年11月13日開催）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の受託事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の助成を受け、女子中高生の科学・ものづくりへの興味を促し、自分自身のキャリアデザインを考える場を提供していくことを目的に、佐賀大・西九州大・長崎国際大・佐世保工業高専の共催で実施しています。6年鈴木美裕さん、坪田寛乃さんが実験体験会「犯人は誰だ？DNAと血液型で捜査せよ！」及びトークセッションに参加しました。（長崎新聞：右から3人目：坪田寛乃さん）



日本薬学会第 143 年会において、本学学生 2 名が優秀発表賞を受賞しました

2023 年 3 月 25 日（土）～28 日（火）、北海道大学において日本薬学会第 143 年会が開催され、本学からも多くの薬学部生・大学院生が日頃の研究成果を発表しました。その中で本学薬学科の学部生 2 名が学生優秀発表賞（ポスター発表の部）を受賞しました。この賞は当大会での学生による発表の中から審査され、優秀な発表者に贈られるものです。

（※ 学年は学会開催日で記載しています。）

受賞者：安斎 瑠美（6 年生・薬理学研究室）

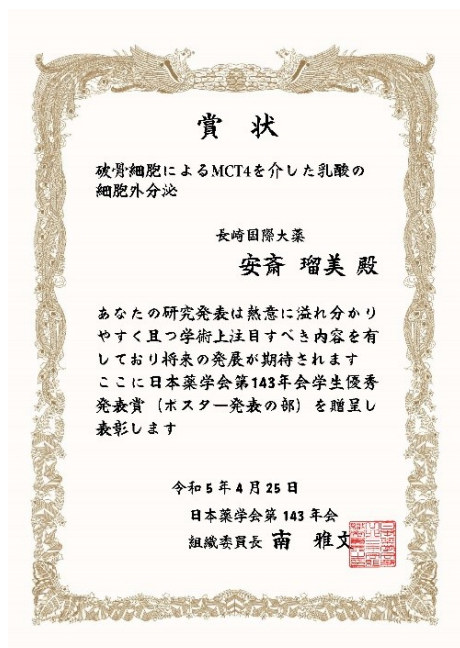
受賞演題：破骨細胞による MCT4 を介した乳酸の細胞外分泌

発表者：○安斎 瑠美、平松 さみ、寺園 綾華、中尾 真美子、森山 美優、西奥 剛

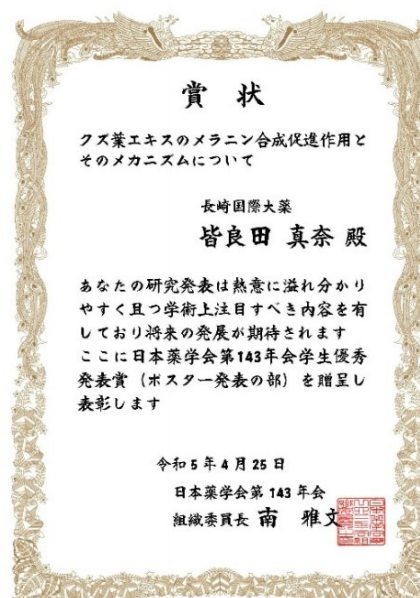
受賞者：皆良田 真奈（5 年生・薬品資源学研究室）

受賞演題：クズ葉エキスのメラニン合成促進作用とそのメカニズムについて

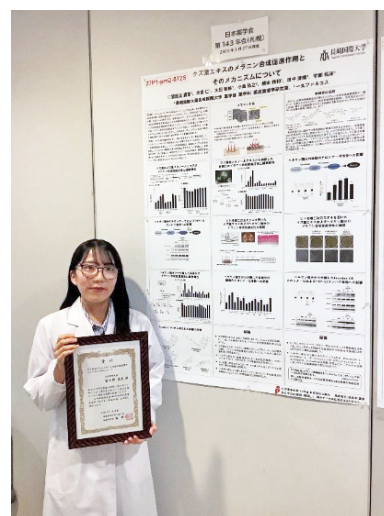
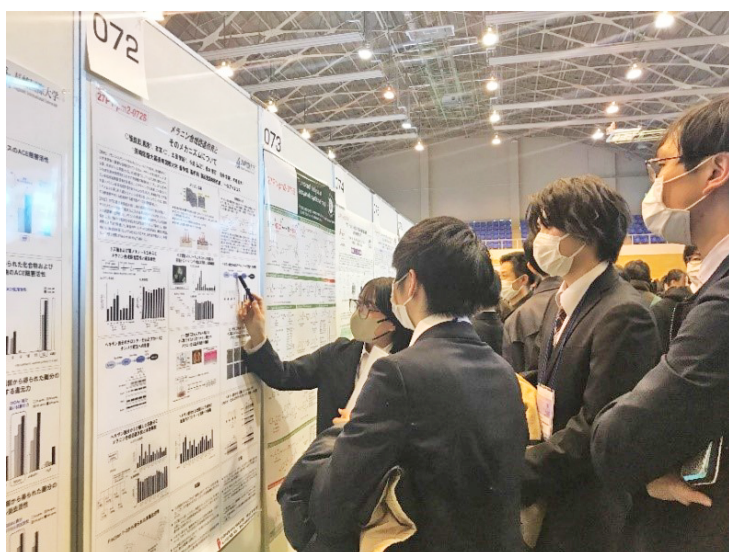
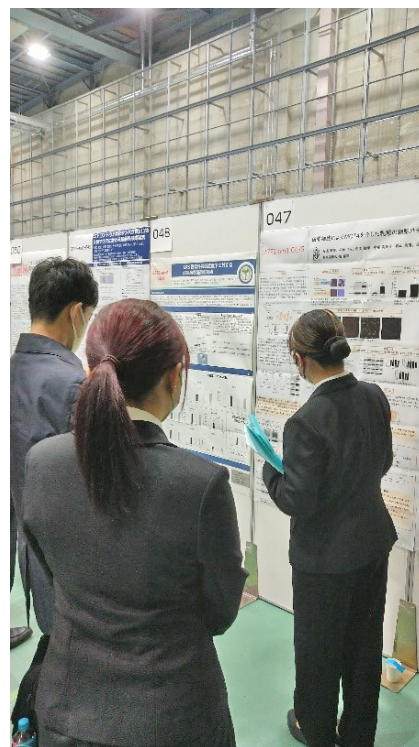
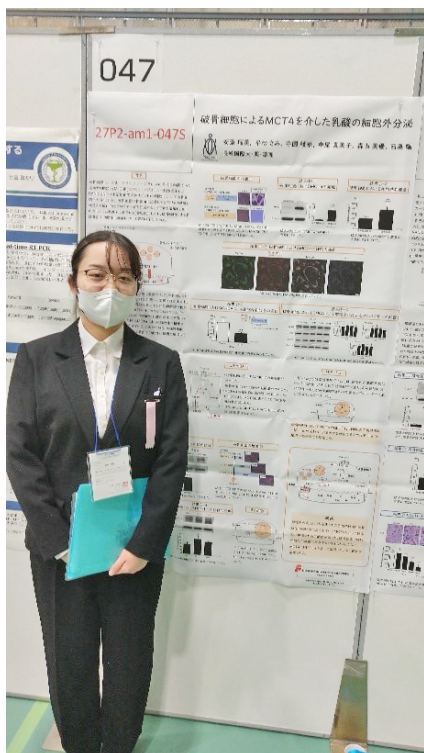
発表者：○皆良田 真奈、吉富 仁、太田 智絵、小島 弘之、橋本 雅和、田中 清隆、宇都 拓洋



賞状（安斎 瑠美）



賞状（皆良田 真奈）



発表の様子（皆良田 真奈）

皆良田さんと発表ポスター

関連リンク

- 薬理学研究室（クリックしたらリンク先へ👉

<https://www1.niu.ac.jp/course/pharmacy/research/1085/1124.html>)

- 薬品資源学研究室

（クリックしたらリンク先へ👉<http://niu.pharmacog.jp/>）

薬学部・薬学科教職員一覧

「アミロイドーシス、脳神経内科研究」のプロ



専門分野：①脳神経外科
②アミロイドーシス
研究テーマ：アミロイドーシスの病態解析と治療研究

安東 由喜男 (あんどう ゆきお)
学長 薬学科 教授

「細胞小器官研究」のプロ



専門分野：①細胞生物学
研究テーマ：細胞内タンパク質選別輸送、膜結合型ユビキチンリガーゼの機能解析

藤田 英明 (ふじた ひであき)
薬学部 学部長 教授

「ゲノム標的創薬」のプロ



専門分野：①核酸化学②分子認識化学③ケミカルバイオロジー
研究テーマ：ゲノムを標的にした創薬研究

佐々木 茂貴 (ささき しげき)
薬学科 薬学研究科長・教授

「機能性分子開発」のプロ



専門分野：①製剤学②生化学③分析化学
研究テーマ：①新規機能性分子の開発②エピゲノム解析に関する研究③生体内分子の機能解析

梶島 力 (かばしま つとむ)
薬学科 学科学長・教授

「生命機能の見える化」のプロ



専門分野：①物理化学②生体医工学③磁気共鳴工学
研究テーマ：①生体機能解析手法・機器開発②生体酸素代謝分析と医薬品薬効評価

市川 和洋 (いちかわ かずひろ)
薬学科 医療薬学専攻長・教授

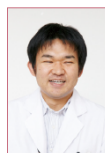
「生体防御と再生」のプロ



専門分野：①免疫学②再生医学③免疫細胞の老化に関する基礎研究
研究テーマ：老化細胞の再生に関する基礎・調査研究

岸原 健二 (かしはら けんじ)
薬学科 教授・図書館長

「天然薬物」のプロ



専門分野：①生薬学②天然物化学
研究テーマ：①伝承医薬からの医薬品シーズの探索②天然薬物の分子作用機序に関する研究③薬用植物の非薬用部位の有効活用に関する研究

宇都 拓洋 (うと たくひろ)
薬学科 教授

「臨床薬剤業務」のプロ



専門分野：①医療薬学②実務薬学③調剤学
研究テーマ：①抗がん剤耐性②肥満制御③薬物濃度測定法および医薬品適正使用に関する研究

大磯 茂 (おおいそ しげる)
薬学科 教授

「モノをはかる」プロ



専門分野：①分析化学②高感度・高選択的分析を旨とした分析試薬及び分析手法の開発と応用
研究テーマ：分離系を用いない迅速かつ簡便な農薬、紫外線吸収剤の分析法の開発

大庭 義史 (おおば よしひと)
薬学科 教授

「薬の副作用を考える」プロ



専門分野：①糖鎖生物学②感染制御学
研究テーマ：微生物由来産物の機能解析ならびに宿主応答に及ぼす糖鎖の役割

小川 由起子 (おがわ ゆきこ)
薬学科 教授

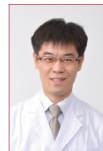
「臨床検査」のプロ



専門分野：①臨床検査医学②生化学
研究テーマ：①日本人の血栓性素因と治療薬の開発②赤血球膜タンパク質の構造研究③磁気による検査システムの開発

隈 博幸 (くま ひろゆき)
薬学科 教授

「生命薬学教育・研究」のプロ



専門分野：①微生物薬品化学②感染制御学③生体防御学
研究テーマ：①細菌感染症の予防と治療に関する生体防御機構に関する研究

黒川 健児 (くろかわ けんじ)
薬学科 教授

「創薬化学」のプロ



専門分野：①創薬化学②有機合成化学
研究テーマ：有機合成化学を基盤とする難治性疾患治療薬の創製研究

小島 直人 (こじま なおと)
薬学科 教授

「真核微生物」のプロ



専門分野：①微生物学②糖質化学
研究テーマ：①病原性カンジダ酵母の細胞壁マンノンの構造と機能に関する研究②薬剤耐性を示す新規カンジダ酵母の免疫化学的研究③冬虫夏草(キノコ)の生理活性成分に関する研究

小林 秀光 (こばやし ひでみつ)
薬学科 教授

「環境毒性」のプロ



専門分野：①環境衛生学②環境微生物学③臭いと香り
研究テーマ：①長崎県産丹精エキスの抗菌試験とガスクロマトグラフィー分析②光触媒を利用した除菌・脱臭に関する研究③自然由来の細菌・ウイルス対応消毒剤に関する研究

佐藤 博 (さとう ひろし)
薬学科 教授

「放射線による診断治療」のプロ



専門分野：①分析化学②放射線治療学
研究テーマ：①放射線を利用した脳機能およびがんの診断治療研究②放射線による脳機能障害と胎児被曝影響の解析

高井 伸彦 (たかい のぶひこ)
薬学科 教授

「蛍光分析・微量分析」のプロ



専門分野：①衛生化学②公衆衛生学③環境科学
研究テーマ：①カテキン類の高速液体クロマトグラフィー蛍光分析法を用いた微量測定法の開発②環境汚染物質の分析およびそれらの生体への影響評価

長岡 寛明 (ながおか ひろあき)
薬学科 教授

「薬と生体の相互作用を科学する」プロ



専門分野：薬理学
研究テーマ：①大脳白質病変形成機構の解明②関節リウマチ病態形成機構の解明

西奥 剛 (にしおく つよし)
薬学科 教授

「データ解析」のプロ



専門分野：①医学バイオ統計学②臨床統計学③医薬品情報学
研究テーマ：①医薬品選定基準の作成②医学データに適切な統計手法の開発③大規模データにおけるデータマイニング

早川 正信 (はやかわ まさのぶ)
薬学科 教授

「遺伝子クローニング」のプロ



専門分野：①生化学②分子生物学③ウイルス学
研究テーマ：①グルコース濃度依存的な肝転写因子ChREBPの活性機構の解明②乳酸菌代謝生産物質の有用作用に関する研究

深澤 昌史 (ふかさわ まさし)
薬学科 教授

「薬学臨床研究」のプロ



専門分野：①臨床薬理学②臨床薬情報学③医療薬学④感染制御
研究テーマ：①レセプトデータベース②医療情報データベース等を利用した医薬品の適正使用に関する研究

室 高広 (むろ たかひろ)
薬学科 教授

「心と脳に効く薬」のプロ



専門分野：①神経精神薬理学②行動薬理学
研究テーマ：①発達障害・ストレス関連疾患の神経精神薬理学②大麻の薬理学と脳内カンナビノイドの生理学

山口 拓 (やまぐち たく)
薬学科 教授

「創薬化学」のプロ



専門分野：①創薬化学②有機化学
研究テーマ：アデニン三リン酸(ATP)をキーワードとする創薬化学

山口 泰史 (やまぐち やすちか)
薬学科 教授

「創薬・薬物分子設計」のプロ



専門分野：①医薬品化学②有機合成化学
研究テーマ：病気の早期診断や創薬研究に役立つ放射性分子プローブの開発

淀 光昭 (よど みつあき)
薬学科 教授

「酵母いじり」のプロ



専門分野：プロトオミクス
研究テーマ：出芽酵母を用いた疾病モデルの構築とその利用

太田 一寿 (おおた かずひさ)
薬学科 准教授

「微粒子粉末化」のプロ



専門分野：①物理薬理学②製剤学
研究テーマ：①新規ソフトカプセル製剤の開発②ナノ粒子の保存粉末化に関する研究③基礎化粧品の高付加価値化の検討④高付加価値付与した健康食品の開発

神谷 誠太郎 (かみや せいたろう)
薬学科 准教授

「医療薬学/病院薬学」のプロ



専門分野：①医療薬学②がん化学療法
研究テーマ：①がん化学療法の副作用軽減を旨とした研究②医薬品の適正使用に関する研究

神田 紘介 (かんだ こうすけ)
薬学科 准教授

「精子形成」のプロ



専門分野：分子生物学
研究テーマ：①生殖細胞分化の分子メカニズムの解析②不妊症治療薬の開発③がん抑制分子標的薬の開発

田中 宏光 (たなか ひろみつ)
薬学科 准教授

「リスク評価」のプロ



専門分野：①衛生化学②食品科学③環境科学
研究テーマ：①食品関連物質の分析②大気粉塵中のエンドキシン濃度と喘息発作の関連性

出口 雄也 (でぐち ゆうや)
薬学科 准教授

「糖鎖生物学」のプロ



専門分野：①機能形態学②糖鎖生物学
研究テーマ：①糖鎖を介した細胞機能調節の研究②海洋生物由来新規糖鎖の探索③メラノソーム機能阻害に関する研究(美白の科学)

藤井 佑樹 (ふじい ゆうき)
薬学科 准教授

「細胞老化」のプロ



専門分野：①分子細胞生物学②細胞工学
研究テーマ：免疫老化に関わるシグナル機構の解明

藤木 司 (ふじき つかさ)
薬学科 准教授

「腸内環境LOHAS」のプロ



専門分野：①分子生物学②遺伝子工学③発生生物学④生化学
研究テーマ：大腸がん予防に関する基礎研究

藤本 京子 (ふじもと きょうこ)
薬学科 准教授

「有機化学」のプロ



専門分野：①有機合成化学②生物有機化学
研究テーマ：生体高分子の精密化学変換を志向した実用的反応の開発

山田 耕平(やまだ こうへい)
薬学科 准教授

「脂質」のプロ



専門分野：①脂質生物学②分子生物学③細胞生物学④薬理学
研究テーマ：脂質メタボロミクスによって解き明かされる、脂質代謝を介した生体恒常性制御機構の解析

石原 知明(いしはら ともあき)
薬学科 講師

「生体用磁気共鳴装置開発」のプロ



専門分野：①電気・電子工学②物理化学
研究テーマ：①臨床用OMRFの要素技術の開発②生体内内因性ラジカル検出可能な機器の開発③疾患モデルマウスを用いた量化的状態変化の高感度検出

榎本 彩乃(えのもと あやの)
薬学科 講師

「医療薬学/実務」のプロ



専門分野：①医療薬学②生薬学
研究テーマ：①医療用医薬品成分に対するモノクローナル抗体を用いた応用研究②オートファジー制御機能成分を用いた抗がん活性評価と応用研究

大久保 伸哉(おおくぼ しんや)
薬学科 講師

「天然物単離・構造決定」のプロ



専門分野：①生薬学②天然物化学
研究テーマ：①天然物からの新規機能性成分の探索研究②薬理活性成分に関する研究

太田 智絵(おたと ともえ)
薬学科 講師

「薬物トランスポーター」のプロ



専門分野：①生物薬理学②薬物動態学
研究テーマ：薬物トランスポーターの構造・機能・制御機構

川崎 達也(かわさき たつや)
薬学科 講師

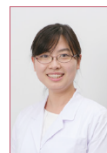
「真菌」のプロ



専門分野：①糖質生化学②微生物学
研究テーマ：①病原性カンジダ酵母細胞壁多糖の構造解析②冬虫夏草由来の生理活性物質の探索

倉岡 卓也(くらおか たくや)
薬学科 講師

「病院薬剤師業務」のプロ



専門分野：医療薬学
研究テーマ：①医薬品等の使用実態と薬に関する教育効果②ケミカルハザードドラッグの曝露回避

末廣 真理恵(すえひろ まりえ)
薬学科 講師

「ストレス応答」のプロ



専門分野：①毒性学②自己免疫疾患
研究テーマ：①環境中の化学物質が生体に及ぼす影響②自己免疫疾患自己抗原タンパクの機能解析③シェーグレン症候群発症に関わる因子

相田 美和(そうだ みわ)
薬学科 講師

「細胞成分が集まる様子を調べる」プロ



専門分野：①生化学②細胞生物学
研究テーマ：出芽酵母を用いた液-液相分離現象の解明および治療への応用

高崎 伸也(たかざき しんや)
薬学科 講師

「動物の行動から薬を知る」プロ



専門分野：①行動薬理学②神経薬理学
研究テーマ：①脳内エンドカンナビノイドの機能解明に関する研究②薬物依存症をはじめとする各種精神疾患の治療薬開発に向けた研究

縄田 陽子(なわた ようこ)
薬学科 講師

「アミロイドーシス研究」のプロ



専門分野：①アミロイドーシス②神経科学③生理学
研究テーマ：アミロイドーシスの病態解析と治療研究

松下 博昭(まつした ひろあき)
薬学科 講師

「論理的創薬」のプロ



専門分野：①計算化学②定量的構造活性相関
研究テーマ：薬物を含む生体関連分子の活性や機能発現メカニズムの原子・電子レベルによる解明

吉田 達真(よしだ たつまた)
薬学科 講師

「放射線・放射線化学」のプロ



専門分野：①放射性薬品学②有機合成化学③放射線生物学
研究テーマ：生体内分子イメージングを可能とする放射性プローブの開発

大神 正次(おおがみ まさつぐ)
薬学科 助教

「脳由来神経栄養因子」のプロ



専門分野：神経科学
研究テーマ：末梢組織を作用点とするうつ病予防・改善薬の創製

中島 健輔(なかじま けんすけ)
薬学科 助教

「クロマトグラフィー」のプロ



専門分野：分析化学
研究テーマ：①医薬品・生理活性物質の高感度な分析法の開発②紫外線吸収剤の分析③動脈硬化の起因物質に関する臨床分析化学的研究

中村 沙織(なかむら さおり)
薬学科 助教

「赤血球膜タンパク質」のプロ



専門分野：①臨床検査学②生化学
研究テーマ：ヒト赤血球膜蛋白バンド3の構造解析、核-ミトコンドリアcross talk

波多江 日成子(はたえ ひでこ)
薬学科 助教

「神経細胞研究」のプロ



専門分野：①薬理学②分子薬理学
研究テーマ：グルタミン酸神経毒性関連疾患の神経精神薬理学

福森 良(ふくもり りょう)
薬学科 助教

「国家試験攻略」のプロ



専門分野：①生化学②細胞生物学
研究テーマ：チロシナーゼ分解を促進する美白化合物の分子作用機構解明

上田 亮太(うえだ りょうた)
薬学科 助手

「薬剤師、若手研究者を育成する」プロ



専門分野：アミロイドーシス学
研究テーマ：①アミロイドーシスの病態解析と治療法の開発②健康長寿を目指す加齢性疾患の病態解析と活用法の開発

福成 温(ふくなり なお)
薬学科 助手

教員・研究者の
詳しい内容はこちら▶



♣ **薬学事務室** (薬学研究棟1階ロビーにあります。)

◆事務室職員：(室長) 井上 龍二
(職員) 福田 恵美子、柿森 孝子、久松 綾



学生の皆さんが、薬学部での研究・学修活動、学生活動、また、主要行事である薬学共用試験、薬学実務実習、薬剤師国家試験等について、安心・安全かつ充実した取り組み、実践ができるよう、先生方とともに様々なサポートを行っています。

【連絡先】 TEL:0956-20-5611(直通) FAX:0956-205622 E-Mail : pharm@niu.ac.jp

教務関係資料

1. 2023（令和5）年度 学年暦
2. 成績表の見方及び GPA 制度の運用
について
3. 出席管理システムについて

1. 2023（令和5）年度学年暦

☆ 前 期

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1. 入学式 | : 4月 3日（月） |
| 2. オリエンテーション | : 4月 4日（火）～ 4月 8日（土） |
| 3. 前期授業期間 | : 4月 10日（月）～ 7月 27日（木） |
| 4. フレッシュマン・セミナー | : 4月 15日（土） |
| 5. 前期試験期間 | : 7月 29日（土）～ 8月 9日（水） |
| 6. 集中講義期間 | : 8月 16日（水）～ 8月 18日（金） |
| 7. 追再試験期間 | : 8月 19日（土）～ 8月 29日（火） ^⑩ |
| 8. 秋季卒業式 | : 9月 2日（土） |

☆ 後 期

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1. 後期授業期間 | : 9月 21日（木）～ 12月 23日（土） |
| | : 1月 5日（金）～ 1月 22日（月） |
| 2. 大学祭 | : 11月 3日（金） 11月 4日（土） |
| 6. 後期試験期間 | : 1月 24日（水）～ 2月 3日（土） |
| 7. 集中講義期間 | : 2月 6日（火）～ 2月 9日（金） |
| 8. 追再試験期間 | : 2月 19日（月）～ 2月 28日（水） ^⑩ |
| 9. 卒業式 | : 3月 9日（土） |

⑩卒業年次生は別日程で実施

学部・学科によっては、この期間外にも実施することがあります。

上記各日程は予定です。事情により変更することがあります。予定を変更する場合は、教務課、学生課の掲示板などにより知らせます。

2. 成績表の見方及び GPA 制度の運用について

保護者の皆様に学生本人の学修成果（成績）を把握していただき、学修向上にご協力頂くために、年に2回、成績通知書を送付しております。大学生生活を成績だけをもって評価するのは適切ではないかもしれませんが、日頃の学修成果のあらわれの一つとして、参考にしてください、学生を激励・ご指導ください。

本学では、教員が授業の質問や学生生活全般にわたる相談に応じるため、オフィスアワーを設けています。オフィスアワーでは、あらかじめ設定された時間帯に教員が研究室等で待機しています。ただし、会議や出張、実習の巡回等により在室できない場合があることをご了承ください。

また、教員が設定した時間以外でも在室中はできる限り対応しますので、積極的に、また気軽に研究室等を訪ねて、学業や学生生活上の諸問題を解決してください。

成績通知書の見方は次の通りです。

【成績通知書（見本）】

成績通知書

所属 国際観光学科 観光マナ/オトコス

学籍番号 20●●●●●

氏名 長崎 太郎

生年月日 19●●年10月24日

在籍期間 20●●年 4月 ●日 入学

GPA

本年前期 0.00

⑥

科目名	単位	修得	科目名	単位	修得
		評価/年度			評価/年度
①	②	③	④		
〔全学共通科目導入必修〕			地域観光研究C (3+2+1)	2.0	C 2014
教養セミナーA	1	A 2017			
教養セミナーB	1	A 2017			
〔全学共通科目人間理解必修〕					
人間文化ⅠA	1	A 2017			
人間文化ⅠB	1	A 2017			
〔全学共通科目人間理解選択〕					
応用数学	2	B 2017			
心算学	2	C 2017			
スポーツ実習A	1	S 2017			
スポーツ実習B	1	A 2017			
〔全学共通科目国際理解必修1〕					
日本語入門A	1	A 2017			
日本語入門B	1	A 2017			
日本語解A	2	Q 2017			
日本語解B	2	B 2017			
〔全学共通科目国際理解必修2〕					
比較文化論	2	A 2017			
〔全学共通科目社会理解必修〕					
学際連携研究	2	A 2017			
地域の理解と連携	2	B 2017			
地域の理解と連携	2	D 2017			
〔全学共通科目社会理解選択〕					
社会学	2	B 2017			
生涯学習概論	2	A 2017			
経済学	2	C 2017			
異文化適応実習A	1	A 2017			
異文化適応実習B	1	A 2017			
日本事情Ⅰ	2	S 2017			
日本事情Ⅱ	2	A 2017			
〔全学共通科目自然理解必修〕					
エコ・ベース実習ⅠA	1	C 2017			
エコ・ベース実習ⅠB	1	D 2017			
エコ・ベース実習ⅡA	1	C 2017			
〔全学共通科目自然理解選択〕					
地域環境論	2	B 2017			
〔人間社会学部学部共通科目必修〕					
キャリア開発A	2	C 2017			
キャリア開発B	2	C 2017			
キャリア開発C	2	C 2017			
〔国際観光学科共通科目必修〕					
観光学概論	2	C 2017			
観光学概論	2	D 2017			
観光史	2	D 2017			
観光史	2	C 2017			
国際観光論	2	C 2017			
観光事業論	2	B 2017			
観光論理	2	C 2017			
〔国際観光学科共通科目選択必修〕					
地域連携活動Ⅰ	2	F 2017			
〔国内観光研究②(九州・沖縄)〕					
〔国際観光学科共通科目選択〕					
観光経済論	2	D 2017			
観光史	2	A 2017			
観光地学	2	D 2017			
観光地学	2	C 2017			
地域観光研究A (3+2+1)	2	C 2017			

① 入学以来、履修登録をし、成績がついた全ての科目名であり単位未修得の科目も含む

② 科目ごとの単位数

③ 成績評価 ※

④ 成績がついた年度

⑤ 分野区分に分けて、卒業に必要な単位、修得単位数、不足単位数を表記

⑥ 学期ごとの GPA 値を記載

※成績評価

100 点を満点とし、60 点を合格、それに満たないものを不合格とします。評点と評価の関係は、次のとおりです。

評点	評価	評点	評価
100～90 点	S	60 点未満	D
89～80 点	A	出席不良	F
79～70 点	B	試験放棄	F
69～60 点	C	単位認定	Q

履修登録辞退制度による辞退 G

分野区分

①

②

③

⑤

分野区分	導入必修	人間理解必修	人間理解選択	国際英語必修	国際英語選択	国際語学必修	国際語学選択	国際観光必修	国際観光選択	社会理解必修	社会理解選択	自然理解必修	自然理解選択	全学共通必修	学部共通必修	学科共通必修
要件	2.0	2.0	6.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0	2.0	8.0	2.0	2.0	32.0	6.0	10.0
有効	2.0	2.0	6.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0	2.0	8.0	2.0	2.0	32.0	6.0	10.0
不足																
分野区分	学科共通必修	学科共通選択	国際英語必修	国際英語選択	国際語学必修	国際語学選択	国際観光必修	国際観光選択	社会理解必修	社会理解選択	自然理解必修	自然理解選択	全学共通必修	学部共通必修	学科共通必修	
要件	2.0	18.0		6.0	14.0	20.0	10.0	10.0	80.0	6.0	124.0					
有効	2.0	18.0		6.0	14.0	20.0	10.0	10.0	80.0	6.0	124.0					
不足																
分野区分																
要件																
有効																
不足																

— 59 —

【GPA 制度について】

学生の学修意欲を高め、本学が掲げる学修目標達成のために、GPA 制度（Grade Point Average）を運用しております。これは、学んだ専門知識・技能をもとに積極的に課題解決にあたる人材を社会が求めていることを踏まえ、本学での学びをより高めて頂こうと考えてのことです。GPA の数値算出方法等につきましては、下記をご参照ください。

評 価		評 点	グレートポイント	評価基準
合 格	S	100～90 点	4.0	到達目標を十分達成し、きわめて優秀な成績を修めている。
	A	89～80 点	3.0	到達目標を十分に達成している。
	B	79～70 点	2.0	到達目標を達成している。
	C	69～60 点	1.0	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59 点以下	0	到達目標を達成していない。
	F	出席不良・受験放棄		出席・試験（レポート等の提出）の評価要件を欠格。

登録した各科目の成績（グレートポイント）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除して算出し小数点第 2 位まで表記します。（小数点第 3 位は、四捨五入）

$$\frac{4.0 \times S \text{ の修得単位数} + 3.0 \times A \text{ の修得単位数} + 2.0 \times B \text{ の修得単位数} + 1.0 \times C \text{ の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数（成績が DF の科目の単位数も含む）}}$$

【GPA 制度の運用について】

この GPA 制度の趣旨に鑑み、GPA が低い学生につきましては、大学として注意を促すことになっております。詳細につきましては下記の「長崎国際大学 GPA 制度運用に関する内規」をご参照ください。

「長崎国際大学 GPA 制度運用に関する内規」抜粋

（GPA の活用について）

第 9 条 GPA は、本学の学生の学修状況を確認し、成績分布状況の把握など、適切に成績を管理するため、次の各号に示す基準として用いるものとする。

(4) 退学勧告

2 前項第 4 号について、半期ごとの GPA において **1.0 未満の学期が 3 期連続**し、学業に対する熱意を欠き成業の見込みがないと判定された学生に対して、学長は**退学を勧告する**ことができる。

3. 出席管理システムについて

長崎国際大学では、学生証を各教室に設置されている IC カードリーダーにかざすことで、出席情報が集約される「出席管理システム」を導入しております。このことにより、学生自身が自分の出席を確認するのはもとより、各科目担当者、および担当教員も学生の出席状況（遅刻・欠席等）を適切に把握し、学修習慣、生活習慣の確立を促すことが可能となります。授業への出席だけがすべてではありませんが、まずは、授業に遅刻・欠席をすることなく授業中心の生活を送る習慣を身につけることが大事なことと考えます。

保護者の皆様も出席状況をご確認いただけますので、下記の要領でご活用ください。

【大学の授業について】

大学の授業は、1 コマ 90 分となっており、多くの科目が全 15 回の授業終了後、定期試験を行い試験の結果によって単位認定を行います。また、試験について、全 15 回の授業のうち 3 分の 2 以上（10 回以上）出席していないと定期試験を受けることができません。

なお、一部、教室変更や実習科目などにつきましては、「欠」と表示されている場合もありますので、予めご了承ください（2 コマ連続で実施される場合には、開始前に 1 回出席となり 2 コマ目は「欠」と表示されている場合もあります）。

※遠隔授業については、科目担当教員が授業終了後手作業での管理を行っています。課題の提出状況等を考慮し出欠の判断を行いますので、出席管理システムへの出欠反映までに 2 週間程お時間をいただく場合があります。

【システムにログインするための「ユーザー ID」と「パスワード」について】

- ユーザー ID：学生の 7 桁の学籍番号の最初に P をつけた 8 桁（半角英数）

（例）P 23●●●●●●●

学籍番号は、直接ご子弟にお尋ねください。電話による問い合わせについては、対応いたしかねます。

- パスワード：学生の生年月日（半角英数）

西暦の 4 桁、次に月の 2 桁、日にちの 2 桁の 8 桁

（例）2003 年 1 月 10 日生の場合 ➡ 20030110

〈注意事項〉

※ ユーザー ID およびパスワードの変更はできません。

出席状況等の照会方法について

①出席管理システムへのログイン

長崎国際大学ホームページを開き、右側に並んだ「出席管理システム」のアイコンをクリックし、出席管理システムのログイン画面を表示する。
又は、次のURLからログインする。

URL: <https://attend.niu.ac.jp/>



「出席管理システム
LOG IN」をクリック

②ユーザーID及びパスワードの入力

表示された「出席管理システムのログイン画面」から、前頁でお知らせした既定のユーザーID及びパスワードを入力し「ログイン」ボタンをクリック。



ログインID	7桁の学籍番号の頭にPをつける	(例) P23XXXXXX (半角英数)
パスワード	8桁の学生の生年月日	(例) 2003年1月10日生の場合 → 20030110 (半角数字)

↓
「ユーザメニュー」が表示される

③ユーザメニュー

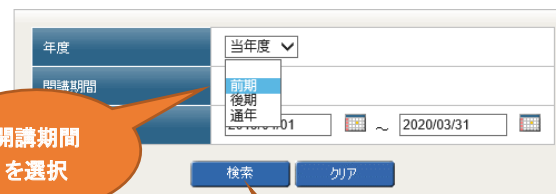
表示された「ユーザメニュー」から「出席状況」を選択しクリック。

(1)



出席状況を
クリック

(2)



開講期間
を選択

検索を
クリック

(3)

ブラウザ画面のスクリーンショット。URL: https://attend.niu.ac.jp/SyussekiCount/studentEveryList.jsp

該当件数: 4 件です。

日付: [選択]

講義	出席率(%)	回数	授	演	出	遅
[11006] 世界史	73	15	15		4	
4月						
9(月)	15(月)	22(月)	11(土)	13(月)	20(月)	27(月)
1限	1限	1限	1限	1限	1限	1限
欠	出	出	欠	出	出	出
5月						
6(月)	13(月)	20(月)	27(月)	3(月)	10(月)	17(月)
1限	1限	1限	1限	1限	1限	1限
出	出	出	出	出	出	出
6月						
4(月)	11(月)	18(月)	25(月)	1(月)	8(月)	15(月)
1限	1限	1限	1限	1限	1限	1限
出	出	出	出	出	欠	欠

講義	出席率(%)	回数	授	演	出	遅
[24010] 観光倫理	93	15	15	14	0	
4月						
9(月)	16(月)	23(月)	7(火)	14(火)	21(火)	28(火)
4限	4限	4限	4限	4限	4限	4限
出	出	出	出	出	出	出
5月						
6(月)	13(月)	20(月)	27(月)	3(月)	10(月)	17(月)
4限	4限	4限	4限	4限	4限	4限
出	出	出	出	出	出	出
6月						
4(月)	11(月)	18(月)	25(月)	1(月)	8(月)	15(月)
4限	4限	4限	4限	4限	4限	4限
出	出	出	出	出	出	出

講義	出席率(%)	回数	授	演	出	遅
[33008] 専門演習ⅢA	93	15	15	14	0	
4月						
10(月)	17(月)	24(月)	8(水)	15(水)	22(水)	29(水)
3限	3限	3限	3限	3限	3限	3限
出	出	出	出	出	出	出
5月						
6(月)	13(月)	20(月)	27(月)	3(月)	10(月)	17(月)
3限	3限	3限	3限	3限	3限	3限
出	出	出	出	出	出	出
6月						
4(月)	11(月)	18(月)	25(月)	1(月)	8(月)	15(月)
3限	3限	3限	3限	3限	3限	3限
出	出	出	公	出	出	出

科目ごとの出席状況が
確認できます

※公認欠席：授業として実施する正課の学外授業や学校感染症の治療、就職活動などの理由により期限内に手続きを行い認められた場合の欠席。
公欠等による欠席は、書類提出後、科目担当教員が「公」に変更します。

学期の初めに履修登録した授業科目について出席状況が一覧で表示される。

〈表示される遅刻・欠席について〉

下記の時間帯を基本として表示します。授業開始 30 分後は、欠席となります。

講義開始 10 分前				講義終了 10 分前
カード受付開始	講義開始 5 分後	講義開始 30 分後	カード受付終了	講義終了
	遅刻開始	遅刻終了		
授業は 90 分間	受付画面	遅刻画面	原則、欠席として 取り扱います	
「出」:出席 「遅」:遅刻 「欠」:欠席「休」:休講 「公」:公認欠席※				

授業時間	1 時限	9 : 00 ~ 10 : 30
	2 時限	10 : 40 ~ 12 : 10
	3 時限	13 : 00 ~ 14 : 30
	4 時限	14 : 40 ~ 16 : 10
	5 時限	16 : 20 ~ 17 : 50

④ログアウト

「出席管理システム」画面の右上にある「ログアウト」をクリック。

茶道文化について

茶道文化について

1. 「茶道文化」の概要

(1) 建学の理念と「茶道文化」

本学は建学の理念に「人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求・実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育・研究」を行うことと位置づけています。本学の教育の眼目とも言うべき「ホスピタリティ」の精神を、理論のみではなく、実践的に学ぶ教養科目として設置されているのが「茶道文化」です。本学では地元長崎県にゆかりの深い鎮信流を取り入れています。開学当初から鎮信流に基づく「茶道文化」を教養教育の根幹として推進してきました。

(2) 「茶道文化」のあゆみと授業内容

授業は1年次から4年次まで開講されており、週1コマ半期1単位の科目として各学年に対応した内容を組み立てています。7～8名の学生に対して1名の指導者が担当するという少人数教育を徹底しています。また、「茶道文化」は学内にある茶道文化研修棟「自明堂」と「不息庵」という茶室を使用して授業を行っています。

「茶道文化」の年表

年	事項
2000（平成12）年	「全学共通科目」の「人間理解」の選択科目として始まる 研修棟「不息庵」（51畳の広間と数寄屋）完成
2006（平成18）年	研修棟「自明堂」（106畳の広間）完成
2015（平成27）年	1年次開講の「茶道文化ⅠA」と「茶道文化ⅠB」が必修科目となる
2017（平成29）年	「茶道文化ⅠA」と「茶道文化ⅠB」が初年次教育の1つとなる
2020（令和2）年	「茶道文化研究所」完成

【1年次：「茶道文化ⅠA」、「茶道文化ⅠB」】

茶道における基本的な礼法を身に付け、茶道実技の基本となる薄茶点前の習得を目指して授業を行います。今年度の前期は、学生の実技の習得状況を把握するための実技確認を実施しました。終了後は、それぞれの担当者より個別にフィードバックを行い、実技習得の向上に努めています。

また、佐世保市や長崎市など地域で開催される茶会へフィールドワークとして参加し、客作法の実践を行っています。



授業の様子



実技確認の様子

【2年次：「茶道文化ⅡA」、「茶道文化ⅡB」】

濃茶点前の習得を目指して授業を行います。また、茶道につながる着付けや絵手紙、花生けといった様々な日本文化を体験するオプション授業を取り入れています。

今年は、前期に授業の一環として「第10回ハイスクール茶会 in ハウステンボス」の学生スタッフとしてサポートに当たりました。円滑な茶会運営のために茶席の案内や水屋の補助に携わり、コミュニケーション能力の向上に努めました。



ハイスクール茶会学生スタッフ



オプション授業（花生け）

【3年次：「茶道文化ⅢA」、「茶道文化ⅢB」】

点前の基礎編から応用編へと進み、点前の中で示される「ホスピタリティ」、すなわち亭主（もてなす側）と客（もてなされる側）双方の心遣いや気配りについて、授業やミニ茶会を通して考えていきます。後期には、本学と連携協定を結んでいる波佐見町歴史文化交流館にて「波佐見茶会」を実施し、「もてなし」について学びます。



ミニ茶会の様子



波佐見茶会の様子

【4年次：「茶道文化ⅣA」、「茶道文化ⅣB」】

4年間の集大成として、学内外のお客様を招いた実践的な茶会を通して「もてなし」とは何かを学びます。前期は「波佐見茶会」を実施し、後期は寄付や懐石料理を含めた「卒業茶会」を行う中で、大寄せと茶事の違いについて比較します。また、裏方での準備・整理にあたる水屋仕事を体験することにより、一連の流れの中で「協働性」が芽生えていくことを目指しています。



波佐見茶会の様子



卒業茶会の様子

2. 履修者数および資格取得者数

「茶道文化ⅠA・ⅠB」は平成27年度から必修科目、「茶道文化ⅡA～ⅣB」は自由選択科目で、令和5年度前期は、「茶道文化ⅠA」が437名、「茶道文化ⅡA」が103名、「茶道文化ⅢA」が21名、「茶道文化ⅣA」が13名、「茶道文化ⅠB（秋季）」が4名、合計578名もの学生が履修しています。

また令和4年度に、鎮信流の最初の免許資格状である「初歩伝」を取得した者は29名（国際観光：16名、社会福祉：5名、健康栄養：4名、薬：4名）。さらに上の「初伝」を取得した者は10名（国際観光：7名、健康栄養：3名）となっており、より高い段位を目指して研鑽を積んでいます。大学生活の中で希少価値のある茶道免許状の取得に結びつくことは、学生にとって魅力であり、就職活動においても自己を表現する一つのポイントとして大きく役立っています。

3. SA（スチューデント・アシスタント）の導入

茶道文化では、教育効果を高めるためにスチューデント・アシスタント制を導入しており、「茶道文化ⅠA～ⅡB」の単位取得者（3・4年生および大学院生）の中から希望者を募り、特に熱心で技量・品格共に優れた学生を選抜し、「茶道文化ⅠA～ⅡB」の授業において後輩の指導に当たっています。これらの授業補助員は成績評価や単位認定には関与しませんが、授業において教職員と学生との意思疎通を促進する上で極めて大きな役割を果たしています。履修学生からは「補助員の先輩が教えてくださいましたが、とてもやさしく丁寧に教えて下さいました。そのおかげで、ちゃんとできるかという不安がなくなりました。」とのコメントが挙がっていました。



研修会の様子



補助員による指導風景

学生生活関係資料

1. 学生生活について
2. 奨学制度（奨学金）について
3. 大学祭のご案内
4. キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて

学生生活

◆ 主な行事

4 月

- 入学式、オリエンテーション・健康診断
- 新歓祭（学生会主催による部・サークル新入生勧誘）
- フレッシュマンセミナー（大学主催による新入生研修）

6 月

- クリーンキャンパス運動（大学教室内消毒清掃活動）
- タバコポイ捨て撲滅運動（大学内および大学敷地外周道路周辺清掃活動）

7 月

- 学長 Café（学長と各学科の代表学生、学生会、留学生との双方向の意見交換）

11 月

- クリーンキャンパス運動（大学教室内消毒清掃活動）
- タバコポイ捨て撲滅運動（大学内および大学敷地外周道路周辺清掃活動）
- 開国祭(大学祭) 【11 月 3 日（金）、4 日（土）】

2 月

- 学長 Café（学長と各学科の代表学生、学生会、留学生との双方向の意見交換）

3 月

- NIU 賞授賞式 【3 月 8 日（金）】
- 卒業式 【3 月 9 日（土）】 卒業記念パーティー（卒業式終了後）

※その他、9 月に秋季の卒業式（9 月 2 日）、入学式(9 月 15 日)、不定期でボランティア活動など。

◆ 学生課の主な業務について

学生課では、学生生活全般の相談への対応から、部活・サークルなどの課外活動に関するサポート、在学証明書等の証明書や駐車許可書等の発行、奨学金関係業務などお子様が大学生活を有意義に送るための様々な支援を行っています。

◆ 学生相談

学生からの学生生活全般の相談に随時対応しています。学生のプライバシーを尊重し相談内容は厳守しながら、必要があれば学生課のみならず、担当教員や各部署と連携を図り、よりよい方向を模索します。保護者様もお子様が大学生活を送るうえで、気になる事などございましたらどうぞお気軽にご相談ください。

◆ 各種届・手続き

各種証明書発行

…… 本学では、[オンライン申請](#)・[郵送申請](#)・[窓口申請](#)が可能です。詳細につきましては、[本学 HP](#)をご覧ください。か[学生課](#)までお問い合わせください。

駐車許可証等の発行

…… 運転免許取得後、3 カ月を経過した学生で車両通学や二輪車での通学を希望する学生は手続きが必要です。駐車許可証の発行についてはいくつか条件がありますので、希望する際は学生課までお問い合わせください。

住所・連絡先の変更

…… 保護者及び学生本人の住所または電話番号に変更が生じた際は、学生課へ申し出てください。申し出が遅れると郵送物が届かない等の不利益を被る恐れがあります。

授業料等延納・分納

…… 特別の事情により、所定の期日までに納付することが困難な場合、申請することで、延納や分納が可能となります。
手続き期間は前期 4 月 30 日、後期 10 月 31 日までとしています。

休学・退学

…… 休学・退学を希望する場合はゼミ担当教員へご相談ください。その後、学生課にて必要な書類をお渡しします。前期より休学する場合は前年度の後期中（1 月中旬～2 月中旬まで）後期から休学する場合は前期中（7 月中旬～8 月中旬まで）にゼミ担当教員へ相談し、手続きを済ませてください。手続きが遅れると次期の学納金が発生します。

◆ その他

学生課では、学生の皆さんが安心して大学生生活を送れるように様々なサポートをしています。

アルバイト紹介

地域の企業様よりいただいたアルバイトの求人は、その都度求人要項を掲示板に掲示しています。ただし、危険を伴うもの、人体に有害なもの、法令に違反するもの、教育的に好ましくないものなど不適当な職種や、大学生生活に慣れてもらうため原則として入学後 3 カ月間は本学からの紹介は行いません。詳細は学生課窓口にてお問い合わせください。

成年年齢が 18 歳に引き下げられた事により、自己決定権が尊重される一方で親の同意なく学生自身の意志で様々な契約をすることができるようになりました。また、近年では、薬物の乱用も身近な所で起こっており決して他人ごとではありません。学生課では、薬物や悪徳商法などについて入学時のオリエンテーションでの指導やポスター掲示、冊子を配布して学生には注意喚起を促しています。

身近な危険に対する
注意啓発

ハラスメント対策

大学内での様々なハラスメントに対応するためハラスメントに関する対策委員会を設置しています。また、相談員や外部諮問員を配置し、外部相談窓口の設置、ガイドラインの作成をするなどして対応しています。

相談は、面談・電話・e メール・投書でも受けており、プライバシーは確実に保護されています。相談員名および連絡先は本学ホームページをご覧ください。

➤ <https://www1.niu.ac.jp/life/hotline/>



各種行事

●学長 Café



学長と各学科の代表学生が、「よりよい大学をつくるため」の意見交換や学生からの要望等を聞く機会として、7月・11月・2月の年3回開催しています。

学長 Café で学生よりいただいた意見や要望は、教員や各部署と共有し、優先順位をつけながら順次改善しています。

●保護者会

令和5年度の保護者会は、10月1日（日）本学にて担当教員による対面での個別面談と本学会場へ出席できない保護者の皆さまにも担当教員との個別面談が実施できるよう10月7日（土）、14（土）の2日間でオンライン面談（原則保護者様のご自宅から Zoom など繋いで面談していただきます）を実施いたします。



課外活動

●学生会活動



卒業パーティーの企画・運営、学生総会の開催、各種イベント、部活やサークルの予算管理など、全ての学生がよりよい学生生活を送れるように活動しております。

学生会活動の一つである新歓祭は、新入生に対し緊張をほぐし学生同士の交流を深めるために行っています。内容は、レクリエーションや部活動紹介、今年度は軽音楽部のライブやエイサーの演舞も披露されました。

●新歓祭



●卒業パーティー

卒業パーティーは、卒業式後に行われるイベントであり、春と秋に行われます。令和4年度の秋季卒業パーティーは中止となりましたが、春季卒業パーティーはコロナ禍もあり、3年ぶりの開催となりました。

例年ハウステンボスで行われますが、今年度は感染対策を講じて本学中庭で行われました。天候にも恵まれ、卒業生の素晴らしい笑顔を見ることができました。



●踊り屋祭



毎年、ダンスサークルとエイサーサークルが合同で学生の皆さんに演舞を披露する場として企画し、大盛況を博しているイベントです。新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降開催できませんでしたが昨年度3年ぶりに開催し、活気溢れる学生たちの姿を見ることができました。

●部活動、サークル活動

令和5年度 公認団体
団体数/47 団体 部員数/1,097 人



体育会
強化指定部
団体数/13 団体
部員数/387 人

NIUUniv..FC

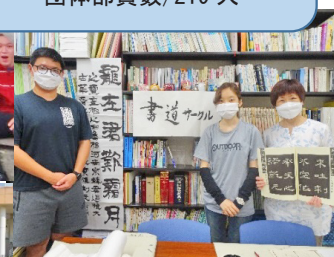
学生生活関係資料



同好会
団体数/7 団体
団体部員数/131 人



文化会文化部・サークル
団体数/11 団体
団体部員数/219 人



奨学制度（奨学金）について

【本学独自の奨学制度】

◆特待生制度

今年度在籍数：306名

- ・入学試験において優秀な成績で合格した場合、入学金の全額免除や授業料を減免する制度
- ※継続要件：GPA による要件の基準に満たない場合は「警告」、連続して受けた場合は降格もしくは取消となる（詳細は学科によって異なる）
- ※要件の基準を上回る場合、昇格することもある

◆同窓会特別奨励金

毎年 20 名採用

- ・長崎国際大学同窓会から在籍学生の就学の奨励及び学資に充てることを目的として長崎国際大学が受け入れた寄付金を原資に各学科から推薦された学生に 10 万円を給付する制度
- ※条件：経済的理由で就学が困難であると認められる者、他の給付型奨学金を受給していない…など

◆兄弟姉妹在籍者奨学金制度

今年度実績：8 組 16 名

- ・兄弟姉妹で本学に同時期に在籍している家庭に対し、各々の授業料の 10%を給付する制度
- ※条件：他の減免を受けていない ※毎年申請が必要（4 月に manaba にて案内）

◆障がい学生に対する修学支援費

昨年度実績：2 名

- ・障がいのため修学上特別な負担を有する学生に対し修学支援費を給付する制度
- ※条件：障がい者手帳を有する学生、または、医師の診断書等により対象と認められた学生

その他

- ◆災害救助法適用地域の被害学生に対する授業料減免
- ◆英語資格特待生
- ◆薬学特待制度

【外部の各種奨学金】

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ●日本学生支援機構（貸与・給付） | ●松藤奨学育成基金（貸与） |
| ●あしなが育英会（貸与・給付） | ●東洋水産財団（給付） |
| ●岡田甲子男記念奨学財団（貸与） | ●大学女性協会（給付） |
| ●河内奨学財団（給付） | ●長崎県介護福祉士等修学資金（貸与・条件付き給付） |
| ●江頭ホスピタリティ事業振興財団（給付） | …その他、病院・薬局・企業・自治体の奨学金制度 |
| ●鉄道弘済会（貸与・条件付き給付） | （就職を条件に給付など） |

◆ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金

奨学金の種類	給付奨学金+授業料減免	貸与奨学金	
	修学支援新制度	第一種奨学金	第二種奨学金
返還の有無	無し	有り（無利子）	有り（有利子）
金額（月額）	【第Ⅰ区分】（自宅）3.83万円（自宅外）7.58万円 【第Ⅱ区分】（自宅）2.56万円（自宅外）5.06万円 【第Ⅲ区分】（自宅）1.28万円（自宅外）2.53万円	2.3.4.5万から 最高5.4万円（自宅通学） 最高6.4万円（自宅外通学）	2～12万円から選択 （薬学部のみ）最高14万円
家計基準の目安	生活保護受給世帯、住民税非課税世帯、またはそれに準ずる世帯	（給与年収）～806万円 （給与所得以外）～398万円	（給与年収）～1,149万円 （給与所得以外）～741万円
学力基準	成績：GPAが上位1/2位以内他	成績：上位1/3位以内	成績：平均以上 修学に意欲があり学業を確実に終了できる見込みがあること

◆ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金スケジュール

【貸与奨学金・給付奨学金共通】

- ・4月～7月に奨学金の募集（説明会）をポートフォリオ「manaba」にてお知らせ（前期の募集は終了しました）
※後期の募集は10月頃、manabaにてお知らせいたします。
- 採用されたらスカラネットパーソナル（webでの手続き）へ登録が必要です。
- 奨学金の振込は毎月11日です（4月・5月のみ振込時期が異なります。今年度は4/21・5/16）

【貸与奨学金（卒業後返還が必要）】

- ・貸与奨学金に採用された場合は「返還誓約書」の提出が必要になります。
- ・適格認定……毎年学年末（説明会12月～2月頃）留年が決定したら翌年度の奨学金は止まります。
- ・卒業する年度の10月～12月に返還説明会が開催され、引き落とし用口座の設定や返還について説明があります。

【給付奨学金】

- ・在籍報告………毎年4月（初年度は該当しません） 10月実施
 - ・適格認定（家計）…毎年10月
 - ・適格認定（学業）…毎年学年末（説明会12月～2月頃）
※日本学生支援機構 HP 適格認定（学業等）にてご確認ください。
※基準に満たない場合は「警告」「停止」「廃止」となります。
※適格認定の結果は、4月の振込をもって確認ができます。
- ◎自宅外通学について…「通学形態変更届（自宅外通学）」と必要な証明書類を提出しないと自宅外通学の給付額は支給されません。（審査完了後、自宅外通学開始月の差額が振込まれます）

家計急変により奨学金が必要になった場合は、学生課窓口へすぐにご相談ください。事由が発生後速やかに申し込んでください（3カ月を過ぎてしまうと申込ができない場合があります。）



■奨学金について以下の事由が発生した場合、学生課へ申し出が必要です。

※手続きを行う場合は、提出期限があります。

- ・改氏名、住所変更
- ・退学、休学、復学
- ・転学、転学部（科）、編入学
- ・留学
- ・貸与月額の変更（増額・減額）※貸与奨学金のみ
- ・利率の算定方法の変更 ※第二種奨学金のみ
- ・返還方式の変更 ※第一種奨学金のみ
- ・連帯保証人、保証人の変更（住所変更等含む）※貸与奨学金のみ
- ・停止（奨学生による申出）※給付奨学金のみ
- ・通学形態の変更（自宅通学⇄自宅外通学）※第一種奨学金・給付奨学金
- ・振込口座の変更
- ・機関保証制度への変更（機関保証制度から人的保証制度への変更はできません）

★詳細は下の QR コードを読み取ってご確認ください。



日本学生支援機構（JASSO）「奨学金」

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>



文部科学省「高等教育の修学支援新制度」

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



奨学生のしおり

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/shogakushiori/index.html>

**手続を怠ると奨学生資格が廃止されるため、
大学からの連絡には必ず対応するようお子様にお伝えください。**

第24回 開国祭（大学祭）

皆様のお越しを実行委員一同、心よりお待ちしております。



【第24回開国祭(大学祭)概要】

〈開催日時〉

11月3日（金）・11月4日（土）

〈テーマ〉

「青春（あおはる）」

〈イベント・催し物〉

- ・学術展示／発表
- ・模擬店
- ・各種ステージパフォーマンス（コンテストなど）
- ・音楽ライブ(ゲスト未定)
- ・トークショー(ゲスト未定)
- ・大抽選会 …他

「青春」というテーマにはこれまでに物足りなかった学生生活を今こそ謳歌しようという意味が込められています。新型コロナウイルスの影響による様々な規制が解除され、この2日間を通してたくさんの企画を用意しております。見守って下さる先生方、保護者の皆様からの応援に対して、感謝の気持ちを忘れず取り組んでまいります。実行委員一同、皆様のご来場をお待ち申し上げております。

※学内駐車場は数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

※以下の資料は全学生へ配付しているものを掲載しております。

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターについて (2023/7/12改訂)

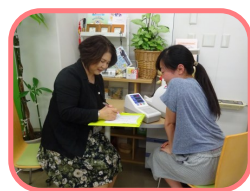
長崎国際大学には、大学生活を過ごされる学生の皆さんにきめ細やかなサポートを提供するためのキャンパスライフ・ヘルスサポートセンター（CHサポートセンター）があります。

センターは、「保健室」・「学生相談室」・「学生生活サポート室」の3つの相談窓口で、学生の皆さんの「からだ・こころの健康、修学・大学生活など」について、いつでも相談できる体制をつくっています。

キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターでの全ての相談の秘密は守られますので、安心して利用できます。

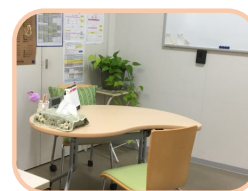
キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターには3つの相談窓口があります

「からだ」の相談窓口	「こころ」の相談窓口
＜保健室＞ 開室時間：月～金 8:30～17:00 職員：室長（コーディネーター兼務）、事務担当 キャンパス・ソーシャルワーカー、看護師 計4名 健康相談、健康診断、応急処置 AED講習会、熱中症対策講習会	＜学生相談室＞ 開室時間：（月）9:00～16:00 （火）9:30～17:30 （水）（木）（金）10:00～17:00 担当：カウンセラー（臨床心理士）4名 ・心理相談 ・全学生対象の心の健康調査（UPI） ・NIUランチアワー（居場所づくり活動） （毎週火曜日 12:10～13:40 場所：R201）など

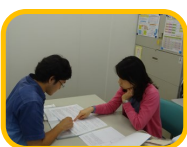


コーディネーターが3室間の連携調整を行います。

- ・学内の学部学科及び事務局の連絡調整
- ・カンファレンスの調整
- ・修学上の配慮に関する申請
- ・障がい学生に対する修学支援費申請



「修学・大学生活」の相談窓口	
【相談支援】 ＜学生生活サポート室＞ 開室時間：月～金 ①12:10～13:00②16:30～17:20 ※水曜②は14:40～15:40 担当：各学部学科の教員、大学院生 ・大学生生活面の相談 ・対人関係の相談（コミュニケーションのサポート）など	【障がい学生支援】 ・各学科のピア・サポート担当教員 ・各学部生、大学院生で ピア・サポーター登録を している学生 ・ピア・サポート学生組織 ピア・サポートに関する活動



各窓口の開室時間・担当者

●保健室（職員4名）

※開室時はいつでも利用可能です。

	月	火	水	木	金
8:30～17:00	保健室長・コーディネーター：内田 キャンパス・ソーシャルワーカー：田添 看護師：松永、事務担当：富永				

●学生相談室（カウンセラー4名）

※利用には原則予約が必要です。

月	火	水	木	金
古川 （女性）	向 （男性）	針塚 （女性）	向 （男性）	安川 （女性）
開室時間は曜日によって違います。				
9:00～16:00	9:30～17:30	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00

●学生生活サポート室（各学科の教員と大学院生）

※自分の学科を問わず利用可能です。

開室時間を変更することがあります。

前期	月	火	水	木	金
12:20～13:00	藤井先生 （健康栄養） 男 性	山口先生 （薬） 男 性	松下先生 （薬） 男 性	梅野先生 （社会福祉） 女 性	高江洲先生 （健康栄養） 女 性
16:30～17:20	佐野先生 （国際観光） 女 性	西奥先生 （薬） 男 性	大学院生 14:40～15:40	久田先生 （社会福祉） 男 性	浦郷先生 （国際観光） 男 性
後期	月	火	水	木	金
12:20～13:00	藤井先生 （健康栄養） 男 性	中村先生 （薬） 女 性	山田先生 （薬） 男 性	梅野先生 （社会福祉） 女 性	岡本先生 （健康栄養） 女 性
16:30～17:20	山内先生 （国際観光） 女 性	長岡先生 （薬） 男 性	大学院生 14:40～15:40	久田先生 （社会福祉） 男 性	陳先生 （国際観光） 男 性

＜修学上の配慮に関する申請制度＞

長崎国際大学では、障がいの有無に関わらず、すべての学生が、有意義な学生生活が送れるよう、質の高い教育を受ける機会を保証しています。したがって、本学のすべての学生は、必要に応じて大学に対し修学上の配慮の申請を行うことができます。

利用の流れ



面談では、修学上の様々な
「困りごと」「配慮してほしいこと」を聴き取ります。

例えば

- デジタルカメラでの板書撮影を許可してほしい
- 定期試験で別室受験制度を利用したい
- 講義中の座席の位置を配慮してほしい など

＜修学上の配慮に関する申請には以下の書類が必要です＞

- ①修学上の配慮に関する申請書
- ②配慮が必要な理由を証明するもの
(診断書、障がい者手帳の写し、出身校からの意見書など)



申請書はキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターでも配布していますが、大学ホームページからもダウンロードできます。詳しくは、大学HPの「学生生活」→「修学上の配慮に関する申請手続き」のページをご覧ください。

＜ピア・サポート制度＞

ピア・サポートとは、仲間（peer）による支援（support）のことで、学内の移動のサポートやパソコン操作のサポート、講義中のノートテイクのサポートなど、修学や学生生活に関するサポートを受けることができます。

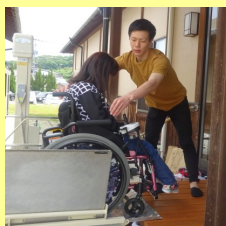
利用の流れ



ピア・サポーター募集！

- ・活動に参加してみたい方
- ・少しでも関心がある方

お気軽にキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターまでおたずねください！



長崎国際大学ピア・サポート学生組織（通称「NPS」）

学生同士の助け合いや支援活動の充実向上を
目的として2018年度に活動を開始！

＜活動内容＞

- ・利用学生からの意見集約
- ・定期ミーティングの開催
- ・先進校視察
- ・大学キャンパスの
バリアフリーマップ作成など



活動に参加してみたい方は
お気軽にCHサポートセンター
までご相談ください！

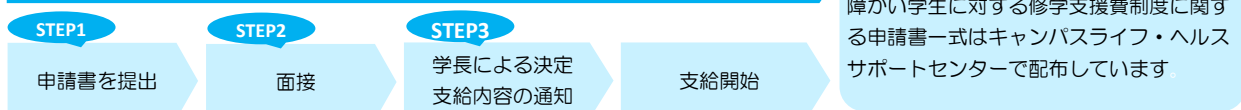
Twitterで
活動内容を発信！
@niu_ps_so



＜障がい学生に対する修学支援費制度＞

長崎国際大学では、障がいのある学生を対象に修学にかかる費用の支援を行っています。「身体障がいのためホームヘルプサービスによる通学支援にかかる費用を申請したい」「視覚障がいのため補助機器を購入したい」など、修学にかかる費用について相談することができます。※支給額には上限があります。

利用の流れ



障がい学生に対する修学支援費制度に関する申請書一式はキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターで配布しています。

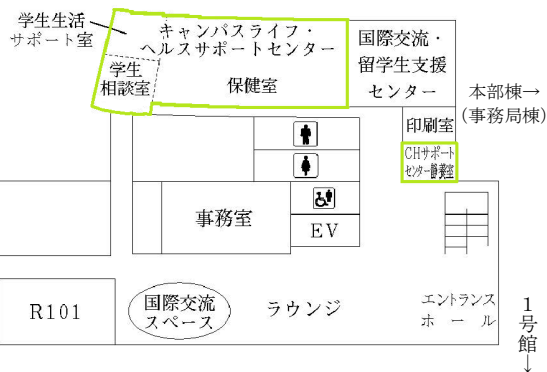
まずはお気軽にご連絡・ご来室ください

Tel：0956-20-5835（直通）

Mail：ch-c@niu.ac.jp（※メールの受信設定をしてください）



キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターは
人間社会学研究棟1階にあります。



国際交流・留学関係資料

国際交流・留学と活動

本学は、「異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成」を教育目標の一つとして掲げており、海外への派遣留学、外国人留学生の受入れと支援、日本人学生と外国人留学生との交流、地域の国際交流などに取り組んでいます。

国際交流・留学生支援センター

国際交流・留学生支援センターでは、海外派遣留学支援、外国人留学生の受入れと学生支援生活支援全般を行っています。日本語、中国語、韓国語、英語での対応が可能です。

海外留学や国際交流についての相談を受け付けています。

国際交流活動「留学生との共修・共働」

長崎県内の高等教育機関 11 校に在籍する日本人学生と外国人留学生との共修・共働を通して、地域社会に貢献し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指すことを目的に活動している「長崎発グローバル人材育成プログラム」という事業があり、本学が県北地域拠点校の役割を担っています。本事業を通じて、学生の異文化理解能力、実践力、あらゆるフィールドで必要とされる課題解決能力が涵養されます。

【連携校】

県南地区：長崎大学、長崎県立大学シーボルト校、活水女子大学、鎮西学院大学、長崎純心大学、長崎総合科学大学、長崎女子短期大学

県北地区：長崎国際大学、長崎県立大学佐世保校、長崎短期大学、佐世保工業高等専門学校

留学プログラム

「長期派遣交換留学プログラム」と「短期留学プログラム」を提供しております。どちらも、本学と協定を締結した大学のキャンパスへ留学し、プログラムを修了することで本学の単位に読み替えることが可能です。長期派遣交換留学は、派遣先大学が示す語学力の要件を満たして入れば、現地の通常の授業の履修も可能です。要件を満たしていない場合は、語学集中コースで徹底的に言語を学ぶことになります。

長期派遣交換留学プログラム

本プログラムは、本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、留学生を相互に派遣、受入れる制度です。現在、交換留学可能な提携校は 10 ヶ国・地域の 41 校です。本学の交換留学生として海外の大学に派遣される場合、様々なメリットがあります。留学期間は 1 年以内です。

●提携校・形態・派遣時期・期間

国地域	大学名	留学形態	開始時期
中国	厦門大学嘉庚学院	専門	春季/秋季
	浙大城市学院	専門	春季/秋季
	瀋陽大学	語学/専門	春季/秋季
	浙江樹人大学	語学/専門	春季/秋季
	山西大学商務学院	語学/専門	春季/秋季
	香港伍倫貢学院	語学	春季/秋季
	東莞理工学院	語学/専門	春季/秋季
	通化師範大学	語学/専門	春季/秋季
台湾	中国文化大学	語学/専門	春季
	中台科技大学	語学/専門	春季/秋季
	建国科技大学	語学/専門	春季/秋季
	国立台中科技大学	語学/専門	春季/秋季

韓国	東西大学校	専門	春季/秋季
	韓国観光大学校	専門	春季/秋季
	慶北化学大学校	語学	春季
	慶南情報大学校	専門	春季/秋季
	忠清大学校	語学/専門	春季/秋季
	湖西大学校	専門	春季/秋季
	順天郷大学校	語学/専門	春季/秋季
フィリピン	ライラム・オブ・ザ・フィリピン大学	語学/専門	春季
	ICCT 大学	語学	春季/秋季
	パーペチュアル大学	語学	春季/秋季
	聖ドミニク大学	語学	春季/秋季
イギリス	チチェスター大学	語学/専門	春季/秋季
	イーストサセックス大学	語学	春季/秋季
	バートン&サスタービシヤス大学	語学/専門	春季/秋季
アメリカ	ハワイ大学カピオニラ校	語学	春季/秋季
	アーカンソーテック大学	語学/専門	秋季
	トロイ大学	語学/専門	秋季
	エバレットコミュニティ大学	語学/専門	春季/秋季
	カリフォルニア大学サンマルコス校	語学	秋季
	シラキュース大学	語学	秋季
	ウィノナ大学	語学/専門	秋季
	レッドリバー大学	語学/専門	春季/秋季
カナダ	オカナガン大学	語学	春季/秋季
	トンプソンリバーズ大学	語学/専門	春季/秋季
	ニューカッスル大学	語学/専門	春季/秋季
オーストラリア	ボンド大学	語学/専門	春季/秋季
	Y SCHOOLS	語学	秋季
オランダ	ブレダ大学	専門	秋季
	サクシオン大学	語学	秋季

※派遣国や派遣大学の事情等により留学内容が変更になる場合があります。詳しくは国際交流・留学生支援センターにお問い合わせください。

留学奨励金

長期派遣交換留学プログラムによる派遣留学生に対しては、毎年 10 人を上限として留学奨励金が支給されます。

交換留学と一般留学

交換留学提携校の枠にとらわれず留学をすることができます。

交換留学と一般留学の違いは下表のとおりです。

	交換留学	一般留学
留学できる大学	提携校に限る	自由に留学先を選べる
出願条件		あり
本学による審査		あり
本学による留学許可		必要
留学中の学籍上の取扱	本学の修業年限に参入される	
帰国後の単位認定	科目によってできる	
本学の学費支払い義務		あり
留学先の学費支払い義務	提携校による	あり
本学独自の奨学金	あり (10 名を上限とする)	なし

短期留学プログラム

「夏季短期留学」・「春季短期留学」の 2 プログラムがあり、長期休暇を利用して本学協定校に約 1 か月間、英語学習を目的に留学するプログラムです。語学学習はもとより、現地学生との交流の機会、その土地の文化や習慣にふれる機会も多数あります。研修費用は為替レート、国際情勢で変動がありますが、北米 約

640,000 円、フィリピン 約 340,000 円程度です。

毎年 4 月に参加者募集の詳細をお知らせしています。留学に関する詳しい内容については国際交流・留学生支援センターに問い合わせてください。

長期派遣交換留学プログラムを終えて

人間社会学部国際観光学科 俵坂 祐生

留学先：レッドリバー大学（カナダ） 留学時期：2022 年 秋季



私はカナダのウィニペグで約5ヶ月間の留学を経験しました。この留学を通じて様々なことを学ぶことができました。1つ目は、カナダの文化についてです。ウィニペグは多くの国から移民が集まる都市であり、多様性に溢れていました。ダウンタウンでは様々な国の料理が販売され、各国のフェスティバルが定期的に行われるなど、文化を体験できる機会が豊富に用意されていました。私もたくさんのイベントに参加し、国籍や年齢に関係なく、互いを尊重し親しく接する様子を目の当たりにしました。実際に他の人と話し、お互いが相手の国に対するリスペクトを持ちながら会話を楽しんでいました。これらの経験から、偏見を持つことや相手へのリスペクトを欠く行動や発言がコミュニケーションや円滑な人間関係の構築に障害となることや、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々と交流することで、偏見を捨て、相互の尊重を持ってコミュニケーションをする重要性を再認識しました。また、異なる文化を持つ人々との対話を通じて、予想外の発見や興味深い話題が広がることを実感しました。

2つ目は、カナダの人々の生活環境と価値観の違いについてです。私はカナダでのホームステイ体験を通じて、カナダの人々の生活環境と価値観の違いについて学びました。ホームステイ先のファミリーとの共同生活は初めてだったため、遠慮しすぎて上手くいかないことがありました。特に、お風呂の習慣や食習慣の違いをととても感じました。最初はストレスや不安、カルチャーショックを感じましたが、ホストファミリーは私の生活習慣や日本の文化を理解し、お互いの生活習慣や食文化について話し合うことで互いの理解を深めることができました。ホストファミリーのおかげで、約5ヶ月間の留学はとても充実したものとなりました。この経験を通じて、知らない人同士が共同生活をする難しさと楽しさを実感し、他者との理解のためには対話が重要であることを再認識しました。また、異なる意見や価値観、考え方、文化を持つ人々とのコミュニケーションでは、自分の意見や考えを相手に誤解されないように正しく伝えることが重要だと感じました。さらに、カナダはローコンテクストの国であるため、言葉だけでなく非言語的な要素も重要であり、少しの内容の省略がコミュニケーションの障害になることを実際に体験して学ぶことができました。

3つ目に、5ヶ月の留学期間で、私は様々な挑戦に立ち向かい成長することができました。最初に直面した困

難は、カナダへの飛行機の乗り継ぎ時にチケットが受け入れられなかったことでした。入国管理オフィスに案内され、英語が理解できず戸惑っていました。また、アメリカへの旅行でも予期せぬフライトキャンセルや航空会社との数時間にわたる交渉がありました。しかし、経験を積むにつれ、スタッフとのコミュニケーションを通じて問題解決に取り組むことで成長を感じました。これらの経験から学んだことは、わからないことがあっても放置せず、知識のある人に質問することで問題解決ができるということです。また、質問する際に理解してもらえないことや適当な回答しか得られないこともありましたが、私は多くの人に質問し続けました。このような経験が私の成長につながったと考えています。さらに、様々な国の人々とのコミュニケーションも私にとって大きな挑戦でした。留学前は外国の人々との会話がうまくできるか不安であり、共通の話題がない場合にどのように関わればよいかわからなかったです。しかし、実際に会話してみると、ジェスチャーや相手の意図を理解しようとする姿勢によって問題がほとんど生じなかったと思います。こうした経験を通じて、様々な国の人々との会話の楽しさを学ぶことができました。

最後に、私はカナダでさまざまな経験をしました。その中にはカナダの文化、自然、価値観、多様性など、初めて触れるものばかりでした。特に多様性の観点では、これからの日本の社会においても重要な要素となっていくと思うので、この経験ができたことは非常に良かったと思います。また、これらの経験から多くの学びを得ることができ、私自身の成長にもつながったと感じます。これからの大学生活はもちろん、社会人になった後もこれらの学びを忘れずに活かしていこうと思います。

国際交流・留学生支援センターからのメッセージ

留学のメリット

これからの変化が激しく、予測が困難で、正解のない時代を生きていくためには、

「未来を切り拓く力」が必要

留学で得られる、6つの成長体験

- | | |
|-------------------------|------------|
| ① 外から日本を見る機会 | ▶ 視野の広がり |
| ② 知らないことを知り、知りたいことを知る機会 | ▶ 世界への関心 |
| ③ 違う価値観に触れ、意味を知る機会 | ▶ 多様性受容 |
| ④ 己のことや日本を知る、知りたいと思う機会 | ▶ アイデンティティ |
| ⑤ 飛び込むことに自信を持つ機会 | ▶ 自己肯定感 |
| ⑥ 逃げないで苦勞する機会 | ▶ ストレス耐性 |



留学によって視野を広げ、自分に力をつけることでその後の人生の選択肢が大きく広がる！

【連絡先】 TEL：0956-20-5677 E-mail:kokusai@niu.ac.jp 担当：竹田



就職支援関係資料

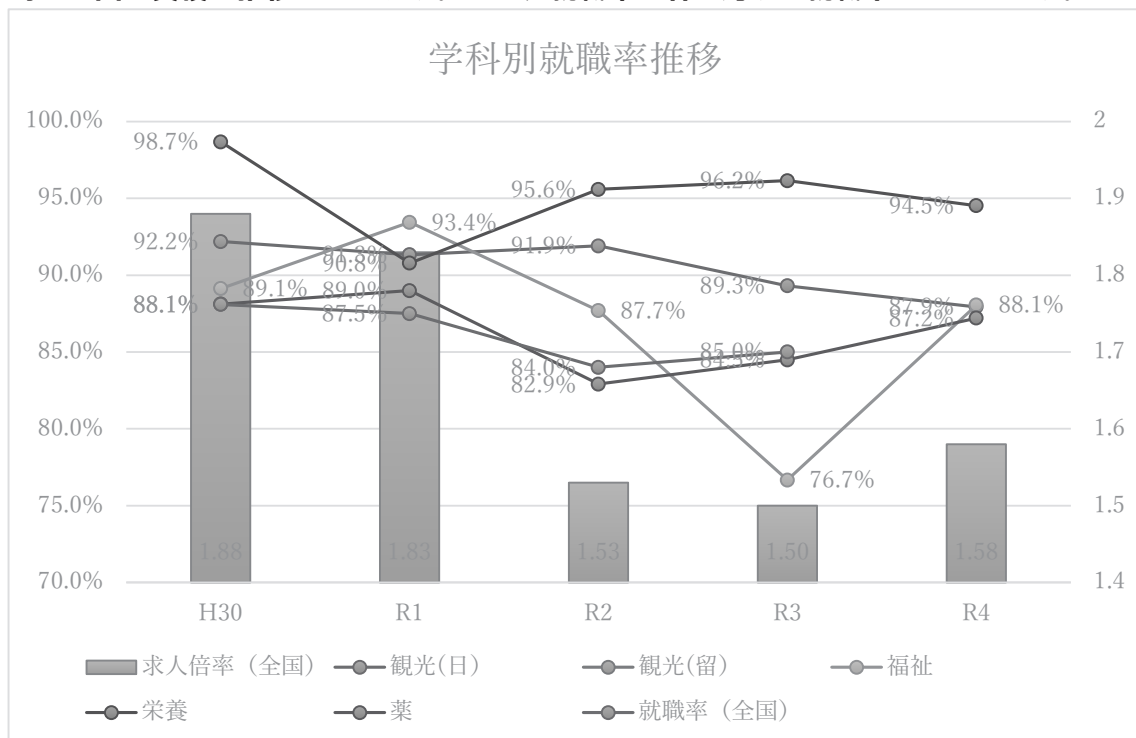
1, NIU キャリアセンターオンラインを開設しました。

本学では「NIU キャリアセンターオンライン」（本学学生専用就職サイト）を開設し、学生はいつでもどこからでも求人情報の閲覧や、ガイダンス・セミナー等の日程確認及び参加予約、先輩メッセージ（動画）の閲覧や個別相談の申し込み等が可能となっています。今後もコンテンツを増やし学生の就職支援を充実させていく予定です。



2, コロナ禍においても就職は堅調に推移しています。

コロナ禍での全国の新卒有効求人倍率は令和2年度1.53倍、令和3年度1.50倍と低下していましたが、令和4年度は1.58倍に回復、令和5年度はさらに回復が見込まれており、企業の採用意欲は高まっています。そのような中本学では、卒業生に対する就職率は全国平均を上回る実績で推移しています。なお、就職希望者に対する就職率は96.0%です。



3. 対面・遠隔の両面から多様な就職支援を実践。

年間 24 回の就職ガイダンス、合同企業説明会 4 回、個別企業説明会 50 社、業界研究セミナー 5 回、県内企業見学ツアー 2 回、グループディスカッション講座・模擬面接は随時開催、学生個別相談件数のべ 3,000 件と学生からの様々なニーズに対面・遠隔の両面から対応しています。

学内撮影会 先着順！

目標写真と撮りたい写真が100です！ぜひおまかせの機会にぜひ参加しましょう！

開催日 11/4(水)・12/2(水)・12/16(水)

時間 9:00 ~ 17:00

※【会場】30分単位で予約をとりまします。

場所 人間社会学部研究棟R305教室

※プロのカラマン・プロの撮影機材に当たります

※キャリアセンターにて必ず申し込みをしてください。

カメラ + 三脚 + 照明機材



就職ガイダンス

※民間企業・公務員希望者は他学科でも参加してください。

【時間】14:40~16:10 予約不要

室内はマナバ「キャリアセンター」からのお知らせから行います

10/13 (水) キックオフセミナー

10/27 (水) 準備編① 自己分析

11/10 (水) 準備編② ES作成

※11/10~11/30 ES作成強化週間(キャリアセンターで)

WEB 実践編① 面接(オンライン)



個別相談

学生の価値観や事情は一人ひとり異なります。個別に面談することにより、学生が抱えているさまざまな問題を一人ひとりの状況を理解し、解決できる方向へ導いていくことを心がけています。その中でキャリアの迷い道に迷った学生と適切な対応をとるよう日々研鑽しています。

面談内容は記録し計画的に対応しています。



4. キャリア形成支援のためインターンシップと多様なエクステンション講座を開講しています。

夏・冬の 2 回のインターンシップ、公務員試験・教員試験対策講座をはじめ多様なエクステンション講座を開講し学生のキャリア形成を支援しています。市場価格より格安でしかも学内で受講できますので大いに活用してください。



令和4年 夏 県インターンシップ 募集開始します！

公務員志望の学生必見！

企業はもちろん県庁・市役所・役場などの行政機関やこのインターンシップに参加しない県民局など、県内インターンシップを体験することができます。

対象：全学第1期生・2・3年生、第4期・5年生

※別途「県内インターンシップ参加申込書」をホームページのダウンロードフォームにて申込

申込期間 4/25 (月) ~ 5/16 (月)

※各大学の夏季休業期間中に実施

【マッチング結果日】6/13 (月)

【実施日程】9~10月期 (詳細5月以降) の後実施

※参加費は全学第1期生が無料です。

公務員試験対策特別講座 受講生募集！

★受講生から公務員合格者が出ています！

★教員試験対策講座として開講

一般行政職、警察官、消防官、自衛官等を志す人はぜひ！

専門職 (社会福祉士、管理栄養士、薬剤師) を目指す場合も教員試験が試験科目にありますのでその対策として！

開講科目：数的推理、判断推理、日本史、世界史、地理、政経、英語、国語、人文常識、自然科学

★お好きな価格設定を実現

公務員試験は30万~40万 (入学費等も含めるため) のところ

本学では65,000円 (資料・模試代金) で受講できます！

分割 (2回) の支払いも受付ます (キャリアセンターへ要相談)。

講座日程：R3年10月4日 (月) ~ 9月30日 (木) までに

日曜：18時00分~19時50分

career@nu.ac.jp



5. 就活費用として10~20万円の準備をお願いします。

コロナ後も、採用試験に遠隔を採用する企業は増加傾向にあり、交通費はずいぶん軽減されました。それでも採用が進むと最終面接は対面を採用する企業が多く一定の交通費の準備が必要です。下表を参考にお子様と費用について話し合い準備いただくようお願いいたします。

区分	数量	概算金額	備考
スーツ 1 式 8 点セット	1	30,000~40,000	靴ベルト鞄まで含めセットでの購入がお得です。
交通費		50,000~100,000	

大学周辺の医療機関（略図）



その他、以下のサイトで詳しく検索できます。
 ながさき医療機関情報システム <http://iryous.pref.nagasaki.jp/>

[illegible]

TEL/0956-39-2020 E-mail/ga-s@niu.ac.jp